

- 平成27年6月に第1回各県（新潟、富山、石川）を開催。
平成27年度の取り組み方針等を議論し、各部会の共通目標、連携した活動の調整を実施。
- 平成28年2月に第2回各県（新潟、富山、石川）を開催。
平成27年度の活動の情報共有と、平成28年度に向けた、活動内容について議論を実施。

平成27年度 第1回 県部会 開催概要

【新潟県部会】平成27年6月23日（火）10:00～11:30
 【富山県部会】6月19日（金）16:00～17:00
 【石川県部会】7月 3日（金）15:00～16:40
 【開催地】北陸地方整備局・富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

平成27年度 第2回 県部会 開催概要

【新潟県部会】平成28年2月 2日（火）13:30～15:00
 【富山県部会】 2月 1日（月）15:00～16:30
 【石川県部会】 2月17日（水）15:00～16:50
 【開催地】北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所



第2回新潟県部会



第2回富山県部会



第2回石川県部会

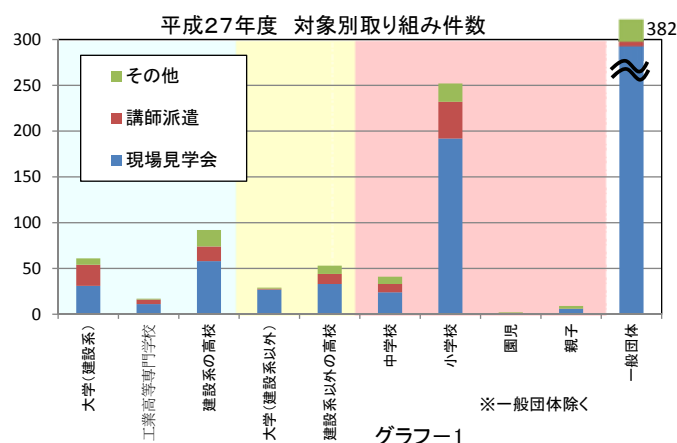
平成27年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

- ・平成27年度、各機関の活動数は927件であり、そのうちの3割弱で他機関・団体と連携し行われている。
- ・対象別では、建設系の学生以外を対象とした取り組みが、8割以上を占め、一般団体、小学生の順に多く取組が行われている。
- ・一般団体を除く取り組み別では、現場見学が多く行われている。
- ・今年度、インターンシップとして352人の学生、生徒を受け入れており、特に建設系の高校生を多く受け入れている。

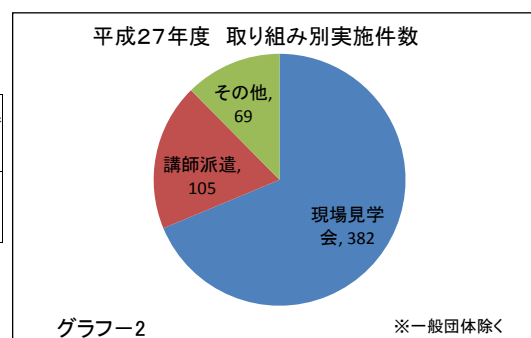
表-1

平成27年度の活動件数について(予定含む/インターンシップ除く)

建設系の学生対象	建設系の学生以外を対象			合 計	各機関で連携・合同で 取り組んだ件数
	大学・高校	中・小・園児・親子	一般団体		
170	82	304	371	927	255

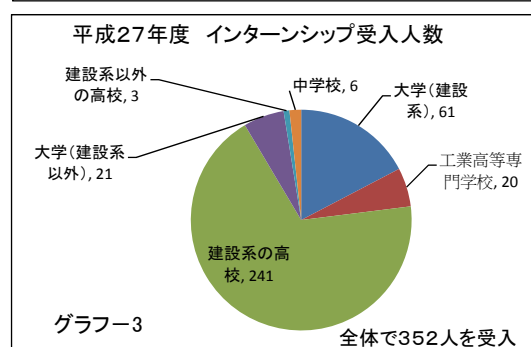


グラフー1



グラフー2

※一般団体除く



グラフー3

全体で352人を受入

平成27年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて(参考資料)

【留意事項】

本資料は、平成27年度の各機関・団体で、対象毎にどのような取り組みを行ったのか、幅広く事例を集め、各機関・団体が次年度以降の取り組みを考えるうえでの参考とすることを目的に整理したものです。

実施件数は概ねの傾向を把握するために集計したものです。(※各機関・団体の判断により取り組みを分類し、報告頂いているため、分類の不整合を含みます。)

	現場見学会	講師派遣	その他	合計	備考
大学(建設系)	31	23	7	61	建設系
工業高等専門学校	11	5	1	17	建設系
建設系の高校	58	16	18	92	建設系
大学(建設系以外)	27	1	1	29	
建設系以外の高校	33	11	9	53	
中学校	24	9	8	41	
小学校	192	40	20	252	
園児	0	0	2	2	
親子	6	0	3	9	
一般団体	334	6	31	371	
一般団体含む	716	111	100	927	
	現場見学会	講師派遣	その他	合計	備考
一般団体除く	382	105	69	556	

平成27年度 建設界の担い手確保・ 育成に関する取り組みについて

参考資料

新潟県部会	P 1～36
富山県部会	P37～52
石川県部会	P55～67

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

平成27年度 建設界の担い手確保・育
成に関する取り組みについて

参考資料

【新潟県部会】

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

北陸管内の9校11学部の建設系大学、高専に訪問して、建設コンサルタントの認知度向上を目的としたPR活動を毎年度行っています。

平成27年度は、建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を9校合計で750部配布しました。また、要望のあった5校を対象に、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について、パワーポイントやビデオを用いた説明会を開催(1校は日程調整中)しています。

説明会開催校で実施したアンケート調査では、「説明会により建設コンサルタントの業務をより深く理解することができた」との評価をいただいております、今後も継続的に説明会を開催していくこととしています。

■建コンPR冊子



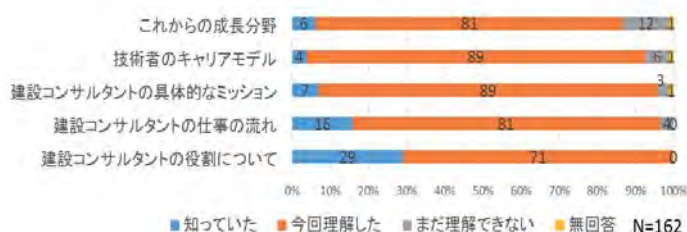
表.建設系大学等へのPR活動状況

写真1.長岡技術科学大学説明会

写真2.金沢大学説明会

学校名	学部・学科	PR冊子配布	説明会
新潟大学	工学部 建設学科	5月21日 50部	-
	農学部 農業環境	5月26日 50部	-
	理学部 地質科学科	5月15日 50部	-
	キャリアセンター	50部	-
長岡技術科学大学	環境・建設系	5月14日 100部	7月28日
新潟工科大学	建築学科	5月13日 30部	-
長岡高等専門学校	環境都市工学科	10月19日 50部	12月7日
富山県立大学	工学部環境工学科	5月13日 60部	11月26日
金沢大学	理工学域	2月18日 or 19日調整中	7月21日
	環境デザイン学類	100部	2月18日 or 19日
金沢工業大学	環境土木工学科	5月14日 60部	-
石川県立大学	生物資源環境学部	5月14日 100部	-
石川高等専門学校	環境都市工学科	5月14日 50部	6月22日

図.説明会開催校における建設コンサルタント業務の理解度



新潟工業高等学校「出前講座」・PR

昨年に引き続き、平成27年10月15日(木)に、土木科2年生の授業の道路設計演習(表1)において、プロフェッショナルである建設コンサルタント技術者から指導して欲しいとの要請に基づいて実施しました。見学概要として、①事業概要・整備効果説明、②整備形態の説明、③ござれや阿賀橋(橋長937m・13径間)計画説明、④道路ボックス計画説明、⑤調整池の計画説明、⑥平面交差点の計画説明などを行った。座学の概要としては、①見学した構造物等を平面図上で確認、②路線選定(路線通過位置)の考え方、③道路の種別と幾何構造、④縦平面線形、交差点、構造物の設計の考え方、⑤ござれや阿賀橋上部工架設方法(動画)などを行った。

現場見学会

- 1)日時:平成27年10月15日(木) 3限〜8限
11:00〜14:40 現場見学
14:40〜15:33 座学
2)見学先:国道113号ござれや阿賀橋付近
※座学は、学校の実習室で実施



座学

演習項目	内 容
設計条件の整理	設計速度や縦平面線形最小値等の条件を先生が提示(道路構造令は3年生で学習)
平面図作成	1/1,000地形図(A1)に、直線及び単曲線により自由に道路中心線と車道幅を図化
縦断面図作成	平面図から標高を読み取り、縦断面図(地形)を作成。同図に縦断計画高・縦断曲線を自由に設定し、各測点毎の道路計画高を計算
横断面図作成	平面図から標高を読み取り、横断面図(地形)を作成。同図に、縦断面図の道路計画高に基づき切盛形状を指定法面勾配で図化



アンケート

問1. 本日の授業では、計画の考え方や道路構造を理解できましたか。
(回答は5段階評価)
30名(79%)が4〜5の評価となっている。高校生にとって、普段通る道路を「道路設計演習」として注意して見るということは、机上の学習にも増して土木設計を理解することができ、有効であったと思われる。

問2. 道路設計に興味・関心は持てましたか。
(回答は5段階評価)
31名(82%)が4〜5の評価となっている。完成(開通)している道路について、設計者の視点から具体的に聞き出すことは、授業を受けている高校生には興味深かったものと思われる。

地域を守る事業を未来の担い手へPR ～「親子で見学会」の開催～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
参考資料③

平成27年8月22日(土)建設コンサルタンツ協会北陸支部恒例の「親子で見学会」を開催致しました。

今年は、「船に乗って信濃川の新たな発見と新潟の未来を想像してみよう!」と題して、多数の小学生と保護者に参加いただきました。見学会では、小学生と保護者それぞれにアンケートを実施しました。結果の一部となりますが、今回の体験を友達に伝えたいとの回答が多数あったこと、もっと詳しい話を聞きたい、普段入れないところに行ってみいたいなど、道路、橋、川などに関する興味の醸成や今後も見学会に参加してみたいという意見を確認することができました。このような結果を受け、今後も参加者の満足度を得ながら、私ども建設コンサルタントの理解を促したり、担い手の確保につながる場の一つに親子見学会を位置付けて取り組んでいきたいと感じた次第です。

これからも地域を守る事業を、未来の担い手の確保につながるように、施設管理者と一体となって積極的に取り組んでいきます。

日 時:平成27年8月22日(土)9:00~11:30
場 所:信濃川、萬代橋、万代クロッシングほか
参加者:25名(小学生14名、保護者11名)
共 催:新潟市
後 援:

北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
北陸地方整備局新潟国道事務所
新潟県 新潟商工会議所 新潟日報社



～スケジュール～

9:00~ ぼんたい丸発着所前の広場
9:05~ ガイダンス
9:15~ 見学会スタート
・信濃川から見た「やすらぎ堤」「萬代橋」など
・万代クロッシング
・新潟日報メディアシップ20F展望広場
11:30 終了・解散



未来の担い手へ確保のための取り組み ～土木の魅力を考える!新潟県新津地域整備部とのワークショップ～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
参考資料④

近年、建設業界の担い手不足が課題となっており、人材確保に向けて土木の魅力を広く発信することが必要と考えています。そこで、行政機関である新潟県新津地域整備部と、建設コンサルタンツ協会、建設業協会の若手技術者が一同に集まり、ワークショップ形式にて土木の魅力を改めて考えました。今後は、この結果を用いて、官民協働で土木のPR作戦を繰り広げる予定です。

■ワークショップの概要

- * 日時:平成27年8月7日(金)10:00~12:00
- * 場所:新潟県新潟地域振興局新津庁舎第一F会議室
(新潟県新潟市秋葉区新津4524-1)
- * 参加:新潟県新津地域整備部 6名
- * (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部 6名
- * (一社)新潟県建設業協会 6名

■ワークショップで考えた土木の魅力とは..

* 参加者は、3班に分かれ、ワークショップ形式にて、「土木に入ったきっかけ、仕事で楽しいこと、やりがいを感じたこと」などについて自由な意見を出し合い、それをもとに「土木の魅力」と「土木のイメージアップに必要なこと」を考えました。その一部をここで、紹介します。

※【土木の魅力】

- * 地域住民に喜ばれる。
- * インフラ整備で社会に貢献できる。
- * 地図に残る仕事ができる。
- * 自分が携わった仕事が形として残る。
- * 女性も第一線で活躍している など。

※【土木のイメージアップに必要なこと】

- * 体験会などで仕事の存在や内容を知ってもらう。
- * ワークショップ当日の様子
- * 災害対応などの社会貢献をアピールする。
- * 携わった構造物に技術者の名前を残す。
- * イケメン技術者、ドボジョをもっとPRする など。



↑意見交換会の様子



↑班毎に発表

未来の担い手へ確保のための取り組み ～土木の魅力を考える！新潟県新津地域整備部とのワークショップ2～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
参考資料⑤

行政機関である新潟県新津地域整備部と、建設コンサルタンツ協会、建設業協会の若手技術者が一同に集まり、ワークショップ形式にて土木の魅力を改めて考え、この結果を用いて、官民協働で土木のPR作戦として、合同で新津地域整備部管内の高校等への出張PRを具体的に展開を予定しております。

【新津管内】

新潟市
秋葉区

■新津高等学校

【1月18日実施予定】

■新津工業高等学校

【調整中】

■新津南高等学校

【調整中】

五泉市

■五泉高等学校

【調整中】

■1・2年生 266名

■五泉北中学校

【12月22日実施】

■村松高等学校

【調整中】

- 新津地域整備部、建設業協会新津支部、コンサルタンツ協会北陸支部合同で新津管内の5つの高校へ出張PRを行うべく学校側と調整中。
- 出張PR実施前と後で土木に対するイメージの変化をアンケートにより調査予定。
- 高校側からNGが出た場合は、アンケート調査のみ実施予定。



未来の担い手へ確保のための取り組み ～「建コン協北陸支部技術・研究発表会」への大学生からの参画～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
参考資料⑥

建設コンサルタンツ協会北陸支部業務・研究発表会は一昨年、建設コンサルタンツ協会50周年記念事業の一環として開催されました。その後、建設コンサルタンツ協会北陸支部会員の業務における優れた成果や研究開発成果の発表を通じて、お互いの技術の研鑽を図ることを目的として継続的に開催することとなり、実施したものです。

本発表会は、新潟市を会場としたことから長岡技術科学大学、新潟大学を対象に学生講演を依頼しました。

両大学から学生を推薦していただき、業務・研究発表会で発表していただきました。

8月7日の当日は、支部会員、大学生並びに行政機関の方々も含め、110名のご出席を頂きました。

今後も、官学産連携して開催し、自己研鑽は勿論、未来の担い手を確保する観点からも関連大学への情報発信を引き続き行っていきたいと考えております。

テーマ	発表者
ビックデータを活用した新たな道路交通指標の検討	エヌシーエー株式会社 総合計画部 ○池田 薫・山村裕章・川端光昭
道路除雪のあり方に関する一考察	開発技建株式会社 調査計画部 ○飯田雅之・佐藤吉一・佐藤勝昭
事故対策(右折分離ゼブラ等)による効果評価方法の検討	開発技建株式会社 交通計画部 調査課 長谷川 克・原 弘行・○矢吹 祐輔・坂庭 宏樹
ASR劣化により横断縁石が確認されたPOT桁の耐荷重評価	株式会社国土開発センター 設計事業部設計1部 ○亀田浩昭・浦 修造・笹谷輝彦
小流量・低落差を克服した用水路対応型水車の開発と収益性の高いビジネスモデルの構築	株式会社新日本コンサルタンツ 市森友明・阿曾克司・○古野昌吾
北陸新幹線開業(分岐駅)に合わせた公共交通整備検討	株式会社新日本コンサルタンツ 設計計画部都市デザイン部都市計画グループ ○大門健一・道木 健
3次元形状情報を活用したCIM活用試行支援業務	大日本コンサルタンツ株式会社 ICT 統括センター、技術統括部 櫻井和弘・和泉 繁・○神原由紀
手取川右岸集落における広域斜面危険度判定マップの適用性について	株式会社日本海コンサルタンツ 技術事業本部 防災構造部 ○東 寛和・西野尚志・荒木龍介・橋本隆司・小間井孝吉・川村圓夫



演題：長期暴露したコンクリートにおけるセメント水和物の化学分析と炭酸化機構に関する検討
発表者：新潟大学 工学部 建設学科 高市大輔 くん



演題：道の駅を活用した地域活性化の取り組み事例
発表者：長岡技術科学大学 都市交通研究室 谷澤明日菜さん

『業界展望を考える若手技術者の会in北陸』は、平成27年8月28日(金)～29日(土)の2日間において、石川県金沢市のITビジネスプラザ武蔵、石川四高記念文化交流館で開催しました。内容は、下記のとおり3部構成とし、1部及び3部は、若手会のメンバーでのグループ討議、2部は、地元若手技術者や大学生を交えた意見交換会としました。

-

平成26年度において、建設コンサルタント業務を紹介する動画として「教えて!ケンコンさん～建設コンサルタントの仕事と魅力～」を製作し、YouTubeへのアップ、支部HPへのアップ、支部の名刺にQRコードの表記など、効果的にPR活動を行った。

平成27年度においても、建コンPR動画第2弾として、「教えて!ケンコンさん!～まちの施設を調べよう～」と題して、地元のアイドルを活用し、次のことをコンセプトとして、現在作成中です。

①観光Map感覚で見ることができること。②地元アイドルの知名度を活用して多くの閲覧が期待できること。

完成後は、昨年同様に様々なイベントでの放映はもちろん、国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県及び石川県から後援を頂き、北陸支部管内の高等学校224校へ動画のチラシ等を配布し、建設コンサルタントの仕事と魅力を紹介する予定としています。これからも建設界の担い手確保のため、積極的に取り組んでいきます。



【建コンPR動画を活用した広報活動】

- 建コンPR動画を「YouTube」で公開
- 建コンPR動画は、各支部、各会員会社でも使用可能。また、独自版に改良も可能。
- 上記建コンPR動画のチラシを北陸支部管内の224校の高等学校に配布し、学生にPRした。

教えて!ケンコンさん
～建設コンサルタントの仕事と魅力～



【名刺を活用した広報活動】

- 名刺上のQRコードからスマホでの読み取りによりYouTubeの動画サイトにリンク



長岡高専の学生、職員30名が、吉津トンネル及び五十母川橋(磐越自動車道)と白根ポンプ場建設の工事現場を見学しました。

平成27年10月22日(木)に長岡工業高等専門学校環境都市工学科の学生25名と教職員5名が、磐越自動車道の付加車線建設工事である吉津トンネル及び五十母川橋と日本海側最大規模のニューマチックケーソン工法による新潟市白根水道町ポンプ場建設の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、トンネル工事等の現場に触れて、建設界の魅力や社会基盤の役割について知ってもらえるものです。

参加者からは、吉津トンネルの現場でインバート施工や坑内を歩きながら完成までの一連の施工過程を見学できて非常に勉強になった。ニューマチックケーソンの実際の現場を見ることができて良かったなどの感想がありました。

この現場見学会を通して建設界や建設工事のスケールの大きさについて、より関心を持てただけならうれしく思います。



ポンプ場概要説明状況



トンネル坑口の「化粧木」



トンネル坑内の施工状況



1期線と沿う五十母川橋の橋脚の施工状況



ポンプ場構築状況を足場上から見学



トンネル坑口(福島側)で集合写真を撮影



五十母川橋の橋脚の施工状況



健康・福祉 暮らし・環境 産業・労働・まちづくり 教育・文化 施策・行政 お知らせ・ご案内

新潟県ホームページ 建設・まちづくり 上越市 妙高市の中学生に建設産業をPR

新潟県 参考資料①



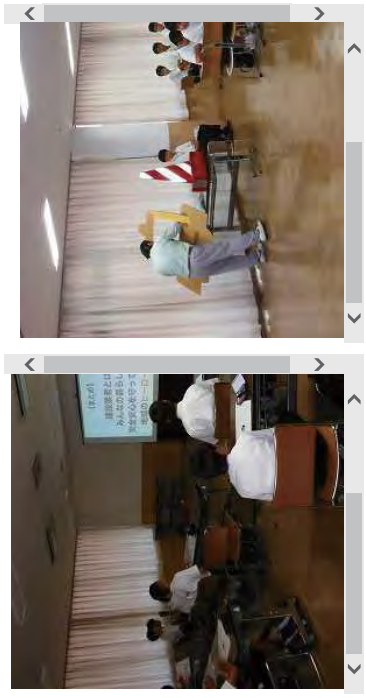
【上越】妙高市の中学生に建設産業をPR

2015年08月25日

平成27年8月24日(月)に妙高市文化ホールで開催された「キャリア教育フォーラムin妙高」で新潟県建設業協会・上越支部青年部会と連携して、建設産業のPRを行いました。

このフォーラムは妙高市内の中学2年生を対象に今年度から開催されたもので、業種毎に個別会場でワークショップを行いました。建設業の会場には計47名の生徒から参加をしていただきました。

このような機会を通じて、少しでも多くの生徒が建設産業の新たな担い手となっていただけることを期待しています。



ワークショップの状況 地震発生時の道路・トロールを寸劇で説明

上越地域振興局地域整備部のトップページへ

◇このページに関するお問い合わせ

上越地域振興局地域整備部
住所：943-8551 上越市本城町5-6
電話：025-526-9503 ファクシミリ：025-525-2392

このページの先頭へ

このサイトの使い方 個人情報取り扱い 著作権リンク等

Copyright(C) Niigata Prefectural Government. All Rights Reserved.

新潟県報道資料

新潟県 参考資料②-1



平成28年1月15日
新潟地域振興局新津地域整備部

県・建設業協会・コンサルタンツ協会 3者が協力して

土木の魅力伝えます 中学校・高校へ出張PR活動を行います(日程追加のお知らせ)

除雪や災害時の応急対応など、地域を支え暮らしを守る土木・建設業の真の魅力とやりがい伝えるために、次世代を担う中・高校生向けに出張PR活動を行います。

担い手確保を課題としている、新潟県土木部、土木施工会社、建設コンサルタンの3業種の若手職員が協力して、それぞれの魅力を伝えます。

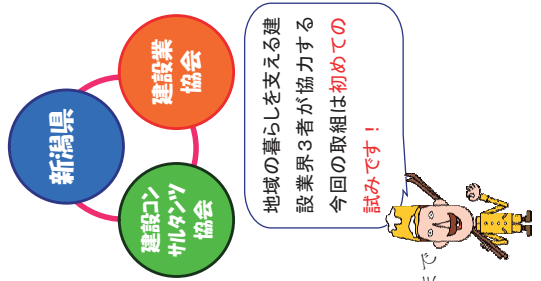
記

実施概要

- 1) 五泉北中学校 (終了しました)
日時：平成27年12月22日(火)
- 2) 新津高校
日時：平成28年1月18日(月) 午後4時30分から午後5時まで
場所：新津高校 大会議室
対象：1年生・2年生の希望者 10名
- 3) 五泉中学校 ◆新たに追加◆
日時：平成28年1月28日(木) 午後1時25分から午後2時15分まで
場所：五泉中学校 体育館
対象：1, 2年生 計285名

講師

新潟県新津地域整備部、(一社)新潟県建設業協会新津支部、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、各団体30代～40代の若手職員で構成する土木技術者チーム



本件についての問い合わせ先
新潟地域整備部 計画調整課
(担当) 計画調整課長 瀬戸民枝
電話：0250(24)9673(直通)
FAX：0250(24)7355
E-mail：ngt112240@pref.niigata.lg.jp

【上越】建設系学科の高校生を対象とした仕事講座を開催しました。

上越地域振興局地域整備部では、建設産業の仕事の仕組みや魅力、やりがいを知ってもらうとともに、より興味や関心を高めってもらうため、上越地域の将来の担い手である建設系学科の高校生を対象とした仕事講座を、新潟県建設業協会上越支部青年部会および北陸地方整備局高田河川国連事務所と連携して実施しました。

建設産業の役割や魅力を現場の技術者が語る。

12月8日に県立高田農業高等学校農業士本科選択者1年生(39名)を、12月16日に県立上越総合技術高等学校環境土木科、建築・デザイン科2年生(63名)を対象として、建設産業の仕事講座「そうじ建設業へ行こう」を開催しました。
講座では建設産業の役割や仕事内容として、普段何気なく目に入っている光景のほとんどに建設産業が関係していることや地域の安全・安心を守るための仕事として災害時の対応や除雪作業等を紹介しました。また、現場で実際に活躍している技術者が体験談や仕事のやりがい・魅力を語りました。
このような機会を通じて、少しでも多くの学生が建設産業の新たな担い手になっていただけることを期待しています。

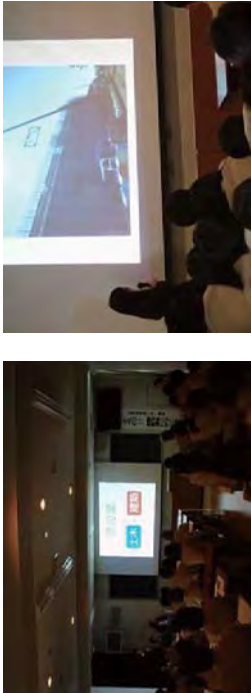
講座の様子(高田農業高校)



建設業の仕事についての説明

現場で活躍する女性技術者の体験談発表

講座の様子(上越総合技術高校)



建設業の仕事についての説明

現場で活躍する女性技術者の体験談発表

▲上越地域振興局 地域整備部トップページ▲

◇このページに関するお問い合わせは

上越地域振興局地域整備部
住所：944-8551 上越市本城町5-6
電話：025-526-9503 ファクシミリ：025-525-2392



健康・福祉 暮らし・環境 産業・労働・まちづくり 教育・文化 施策・行政
お知らせ・ご案内

新潟県ホームページ 建設・まちづくり 【十日町】十日町総合高校へ土木のPRに行ってきました

【十日町】十日町総合高校へ土木のPRに行ってきました

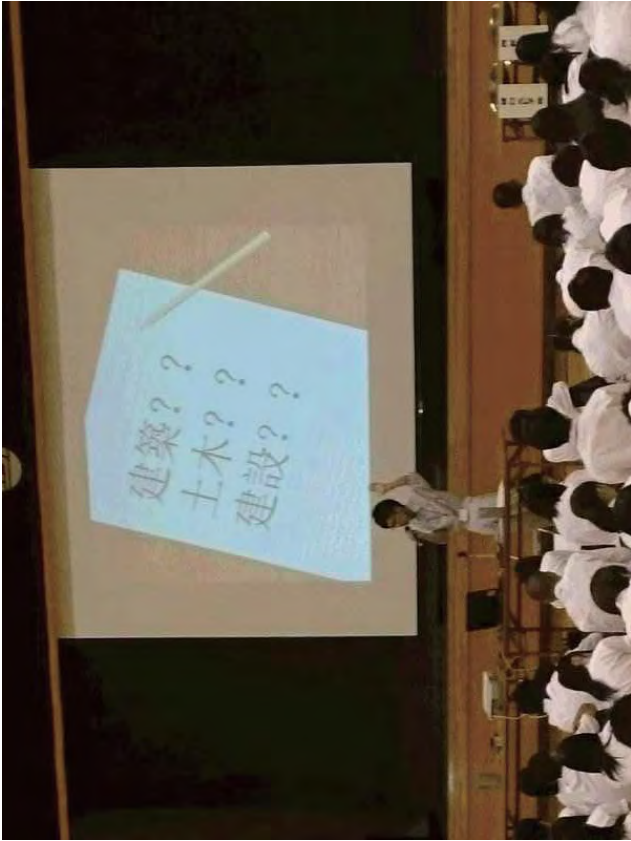
2015年08月20日

平成27年6月30日(火)、十日町総合高校の授業「職業人講話」の講師として、建設業協会十日町支部の方々と共に、土木のPRを行いました。
当日は1年生160名に、看護師・IT・ソフトウェア製作・建築・土木という職業について、それぞれの職業の人が説明をしました。
今後、就職や進学等を迎える高校生の皆さんに土木の仕事を紹介し、就職先として、土木に少しでも魅力を感じてもらえるようPRしてきました。

授業風景



講師紹介。大勢の前でみんな緊張しているようです。



地域整備部の説明。建築・土木・建設の違いを聞いてみましたが、あまり理解されていませんでした。



建設業協会の方からも説明してもらいました。1日の仕事の流れや、仕事の内容について分かりやすく話をしてもらいました。

◇このページに関するお問い合わせは

十日町地域振興局地域整備部
住所：948-0037 十日町市妻有町西2丁目1番地
電話：025-757-5522 ファクシミリ：025-752-5329

【新発田】出前講座「加治川の恵み講座」を実施しました。

2015年08月07日

7月10日(金)に佐々木小学校4年生、7月23日(木)に五十公野小学校4年生を対象に「加治川の恵み講座」を実施しました。

7月10日の佐々木小学校の様子



加治川治水記念公園で加治川の治水の歴史を学習しました。



ダム 모형により、ダムの効果を実験しました。



ダムの役割を学習しました。



内の倉ダムの中を見学。中庭内で雪の霰がにびつかりました。

7月23日の五十公野小学校の様子



加治川治水記念公園で加治川の治水の歴史を学習しました。



ダムの模型により、ダムの効果を実験しました。



ダムの役割を学習しました



ダムの模型内の空間の広さにびっくりしました。

受講後の主な感想

- ・加治川について(河川関係)
- ・加治川水門は100年前に造られたことが分かりました。
- ・加治川分水嶺の出来までが分かりました。
- ・昔の加治川は、赤川加治川という名前であったことが分かりました。

内の倉ダム(ダム関係)

- ・ダムの目的は、治水を防ぐことと意外にも、発電や、水道に使われていることが分かりました。
- ・ダムにもいろいろな種類があることが分かりました。
- ・ダムがあるから、安心して暮らすことが出来るということが分かりました。
- ・ダムにはゲートがあり、水を調整していることが分かりました。
- ・新発田市には、4つのダムがあることが分かりました。
- ・ダムに興味を持ちました。

ご案内

新発田地域整備館では、出前講座を実施しています。
希望する小学校があれば、計画調整までご連絡ください。

◇このページに関するお問い合わせは

新発田地域整備館地域整備部計画調整課
住所: 957-8511 新発田市豊町3丁目3番2号
電話: 0254-26-0653 ファクシミリ: 0254-26-6449

このページの基調へ

このサイトの使い方 個人情報取り扱い 著作権リンク集

Copyright(C) Niigata Prefectural Government. All Rights Reserved.



【新潟】施設見学会を開催しました（葛塚東小学校5年生）

2015年12月10日
新潟地域振興局地域整備部では、未来を担う小学生のみなさんに社会資本整備に対する理解を深めてもらうため、県が管理する土木施設の見学会を開催しています。
平成27年11月17日（火）に開催した第2回目は、葛塚東小学校5年生（118名）のみなさんが、福島潟放水路及び福島潟の治水対策を見学しました。
そのときの様子を以下に紹介します。

福島潟放水路及び管理所

- 1 福島潟放水路
福島潟放水路は、福島潟の水位が高くなったときに、洪水を新潟東港から日本海に放流するために開削した人工河川で、平成15年に完成・通水しました。
放水路には2つの堰と1つの水門が設けられており、これらの操作により放水路内の水位調節を行い、速やかに洪水を放流し、周辺地域を水害から守っています。
- 2 福島潟放水路管理所
管理所は、福島潟周辺の海拔ゼロメートル地帯が水害に遭わないよう、放水路に設けられた堰、水門などを集中的に監視・制御する施設です。



福島潟放水路管理所

福島潟放水路管理所での見学

- 1 管理所での説明
管理所職員が、①福島潟周辺の地形、②放水路建設までの経緯、③洪水時の水位調節の仕組みなどをスライドを使って説明しました。
放水路は昭和41年、42年の羽越水害を契機として計画され、35年をかけて完成しました。
豊栄潮止堰、楳（むくろし）堰及び浦ノ入水門などの施設があり、福島潟の洪水を日本海に安全に放流します。
小学生のみなさんは、地域を水害から守っている放水路の仕組みを興味深く聞いていました。

【主なQ&A】

- Q 堰や水門が壊れているときに洪水が起きたらどうするのですか。
A 壊れないように常に点検しています。
- Q 洪水時に管理所の職員が来られないときはどうするのですか。
A 新潟地域整備部から応援が来ます。



管理所での説明



水位調節の仕組みを学習

- 2 ゴム引布の模型
2つの堰はゴム引布（ひきぬの）を袋状に取り付けてあり、豊栄潮止堰は水、楳堰は空気で膨らませています。洪水時には水や空気が抜け、堰が倒れ水が流れる仕組みです。
小学生のみなさんは、ゴム引布の模型に触って厚さや感触を確かめていました。



ゴム引布模型の前で説明



ゴム引布模型に触る小学生のみなさん

- 3 豊栄潮止堰
管理所の敷地に隣接して豊栄潮止堰（左下写真）があります。豊栄潮止堰は海水が遡上することを防止し、洪水時には堰を下げて放水路から洪水を放流します。
見学時には、放水路よりも海面が約0.5メートル低くなっていました。（左下写真：堰の右側が海面）



豊栄潮止堰



豊栄潮止堰の説明

- 4 楳機械
次に楳機械を見学しました。ここには潮止堰内部に水を送るポンプが設置されています。
小学生のみなさんは、初めての施設に驚きの声を上げながら見入っていました。



楳機械内部

5 栂堰
バスで上流にある栂堰（左下写真）へ移動しました。
栂堰は放水路の水が福島潟へ逆流することを防ぎ、放水路の水位を維持しています。福島潟の水位が上がると堰を倒して洪水を放水路へ流します。
ここでは、通常、福島潟側の水位が放水路の水位と比べて約1メートル低くなっています。
小学生のみなさんは、水位の違いに驚いています。



栂堰（写真右側が福島潟方面）



栂堰の説明

福島潟での見学

- 1 ビュー福島潟屋上から放水路の説明
放水路は上流の雁がけ橋が起点になり、新潟東港へとつながっています。
起点の脇に建つビュー福島潟の屋上から、見学してきた管理所方向を振り返りました。
- 2 福島潟
福島潟周辺は海抜ゼロメートル地帯であるため、雨が降ると雨水が流れ込み水害を引き起こす危険があります。そのため、県が周囲は整備などの治水対策を進めています。
今回はビュー福島潟の屋上から、当館の担当者が福島潟の役割や治水対策を説明しました。
小学生のみなさんからは、周囲堤の延長や福島潟の水深などの質問がありました。



ビュー福島潟屋上から放水路の説明



福島潟全景



福島潟の治水対策の説明（午前）



福島潟の治水対策の説明（午後）

その他の施設

■浦ノ入水門
今回見学しなかった施設に「浦ノ入水門」があります。この水門は、放水路と新発田川が平面交差している地点（「川の十字路」と呼んでいます。）の新発田川下流側に設置されています。放水路の水位調節が主な役割で、洪水時は水門を閉め、放水路の水が新発田川へ流れ込むことを防いでいます。



浦ノ入水門

見学会を終えて

今年度第2回目は、葛塚東小学校5年生のみなさんに福島潟放水路及び福島潟の治水対策について見学していただきました。
福島潟周辺は、海抜ゼロメートル地帯であることに加え、海岸砂丘が日本海との間に伸びており、水はけの悪い地形になっています。福島潟に流れ込む水を海に放流するためにつくった川が「福島潟放水路」であり、洪水を一時的に溜める場所が「福島潟」です。県では、これらの整備を進める治水事業を計画的に行っています。
葛塚東小学校は、福島潟の最も近くにある小学校です。今回の見学会を通して、参加していただいたみなさんの地域が、これらの土木施設やそこで働く人々により水害から守られていることを理解していただきました。
来年度以降もこのような見学会を予定しています。開催が決まり次第、お知らせしますので、参加を希望する小学校はお申し込みください。

◇このページに関するお問い合わせは

新潟地域振興局地域整備部
住所：951-8575 新潟市中央区川岸町3丁目18番1号
電話：025-231-8302 ファクシミリ：025-231-8317
電子メール：ngf112140@pref.niigata.lg.jp

[このページの先頭へ](#)

[このサイトの使い方](#) [個人情報の取り扱い](#) [著作権・リンク等](#)

Copyright(C) Niigata Prefectural Government All Rights Reserved.



新潟県
NIIGATA PREFECTURE

あ
あ
あ

新潟県
参考資料⑦

健康・福祉 暮らし・環境 産業・労働・まちづくり 教育・文化 施策・行政 お知らせ・ご案内

新潟県ホームページ > 建設・まちづくり > 【南魚沼】五十沢小学校の児童が鎌倉沢川の砂防施設を見学しました

【南魚沼】五十沢小学校の児童が鎌倉沢川の砂防施設を見学しました

2015年12月04日

平成27年11月27日、南魚沼市立五十沢小学校の5年生28名が、登録有形文化財に登録された鎌倉沢川の砂防施設を見学しました。

5年生は、理科の授業で「流れる水のはたらき」について学習しており、川の上流部と中流部で流れる水の速さや石の形などの違いを観察したり、川の水による災害を防ぐための工夫を知ったりするために、今年はじめに鎌倉沢川を見学しました。

当日は、見学途中から天候が悪くなってきたため、上流部の砂防施設のみの見学となりましたが、児童は砂防堰堤によって勾配が緩くなった川の中に入り、川の様子を観察しました。

見学の様子



川の様子や砂防施設を見学



登録有形文化財に登録された砂防施設について、簡単なクイズを交えながら説明



川の水が少なく流れが穏やかだったため、川の中に入って川の様子を観察

[南魚沼地域振興局地域整備部トップページへ](#)

◇このページに関するお問い合わせは

南魚沼地域振興局地域整備部
住所：949-6680 南魚沼市六日町960
電話：025-772-2661 ファクシミリ：025-772-2618
[このページに関するお問い合わせは](#)



[このページの先頭へ](#)

[このサイトの使い方](#) [個人情報保護の取り扱い](#) [著作権・リンク等](#)
Copyright(C) Niigata Prefectural Government. All Rights Reserved.

【上越】土木系高校の生徒を対象に建設現場見学会を開催しました。

2015年07月17日

上越地域振興局地域整備部では、昨今の建設産業の担い手不足を解消するため、建設産業の仕事の仕組みや魅力、やりがいを知ってもらうとともに、より興味や関心を高め、将来の地域における安全・安心の担い手である土木系の高校生を対象とした現場見学会を、新潟県建設業協会 上越支部青年部会および上越地方整備局高田河川国道事務所と連携して実施しました。

先輩が活躍する現場を見学

7月10日に県立総合技術高等学校環境土木科2年生(男子12名、女子17名、計29名)を、7月16日に県立高田農業高校農業土木科2年生(男子26名、女子11名、計37名)を対象として、国道18号に架かる妙高大橋(妙高市坂口新田地先)の架け替え工事の現場見学会を実施しました。

現場では、事業内容のほかに親睦担当が各高校の出身者であったことから、仕事のやりがいが、や縁談顔についても話をしていたいただきました。また、工場の施工に使用するスーパーサージ（鉄骨と型枠の間隔を保持する部材）に見学客連として記念としてもらった、自動追尾式の測量機器の説明やデモンストラーションを行い、書に比べて施工管理の手間が軽減されている状況を紹介しました。

移動時間を利用して、建設産業のPRを行うとともに女性の就業状況や休日・残業等の労働環境について説明を行いました。このような機会を通じて、少しでも多くの学生が建設産業の新たな担い手となることを期待しています。

現場見学の様子(上越総合技術高校)



現場見学の様子(高田農業高校)



▲上越地域振興局 地域整備部トップページへ▲

◇このページに関するお問い合わせは

上越地域振興局地域整備部
住所：943-8551 上越市本城町5-6
電話：025-526-9503 ファクシミリ：025-525-2392

[このページの先頭へ](#)

このサイトの使い方 個人情報取り扱い 著作権・リンク等

Copyright(C) Niigata Prefectural Government.All Rights Reserved.



新潟県

NIIGATA PREFECTURE

健康・福祉

暮らし・環境

産業・労働・まちづくり

教育・文化

施策・行政

お知らせ・ご案内

新潟県ホームページ

建設・まちづくり

新潟県ホームページ > 建設・まちづくり > 【長岡】高校生を対象とした「雪国の暮らしを守る道路消融雪施設見学会」を開催しました

【長岡】高校生を対象とした「雪国の暮らしを守る道路消融雪施設見学会」を開催しました

2015年11月10日

雪国の暮らしを守る道路消融雪施設見学会

地域を支える建設産業の底力を発信するために、将来を担う高校生を対象に現場見学を行い、建設産業の魅力と重要性について理解してもらうことを目的として平成25年度より開催されています。

地域を支え、暮らしを守りながらも、大雪時や災害時には率先して現地の応急対応にあたるなど、建設産業が持つ真の底力と魅力や重要性について、積極的に広報活動を行う事業です。

過去2年間の開催を通じ生徒や学校側からの反応もとてもよく、本年度は「①歴史を学び ②仕組みを体験し ③現場を見る」をテーマに雪国の日常生活を守る消融雪施設の現場を各々が興味深く見学していました。



工場見学終了後の記念写真「全員満足そうです」

実施概要

- 実施日 平成27年11月5日(木)
- 参加高校 県立長岡工業高等学校 (校長:安達 弘哉 全校生徒:702名)
- 参加者数 生徒19名、引率2名、実施団体4名
- 見学箇所 (株)アドヴァンス様「消融雪製品の製造工場」(長岡市百束町)
- 実施団体 (一社)新潟県融雪技術協会
- 主催 新潟県 長岡地域振興局 地域整備部
- その他 参加校は上記の他に、県央工業高校と新潟工業高校(10月22日実施)の2校が参加。



真剣な眼差しで説明を聴く参加生徒

見学箇所1

【久保誠電気興業(株)様】
工場地内の消雪用井戸掘削工事現場(長岡市北陽バス内で「消雪パイプの歴史」や「ノズルの変遷」等の説明を聞き、掘削方式として「パーカッション方式」と「ロータリー方式」の二つについて解説を聞く。また、さく井の専門技術資格として「さく井技能士」があることを学びました。

現場では、機械の音と掘削の振動に参加者は驚きの表情をしていました。



掘削機械の迫力ある音と振動に圧倒される参加生徒



さく井の仕組みを知り、パーカッション方式の掘削方法を学びました



見学箇所2

【(株)アドヴァンス様】
「消融雪製品の製造工場」(長岡市百束町)
「誠意・創意・熱意」を社是とする建設産業向けコンクリート製品製造の会社。
日頃はあまり気にならなかった道路の「消雪パイプ」。消融雪製品の説明を聞く度に、その重要性を理解し、地域の暮らしを支える大切な事業であると感じていただいた事と思います。
参加者の見つめる先に「未来の消融雪技術者」を感じる見学会でした。



社内での座学と工場内見学で製造工程を知る



完成した消融雪製品を見て、その特徴を知りメンテナンス方法も学びました

消融雪技術に関する詳しい内容は、下記ホームページをご覧ください。

[\(一社\)新潟県消融雪技術協会のホームページはこちら](#)

◇このページに関するお問い合わせは
長岡地域振興局 地域整備部計画調整課 住所：940-8567 長岡市沖田2丁目173番地2 電話：0258-38-2614 ファクシミリ：0258-38-2676



健康・福祉 暮らし・環境 産業・労働・まちづくり 教育・文化 施策・行政
新潟県ホームページ > 建設・まちづくり > 【新潟】地域を守る社会資本の現場見学会を開催しました

新潟県 参考資料②⑩

あああ



【新潟】地域を守る社会資本の現場見学会を開催しました

2015年11月12日

平成27年10月28日(水)、県立新潟工業高校土木科1年生(40人)を対象に「地域を守る社会資本の現場見学会」を開催しました。

未来の建設業界を担う高校生に土木事業の魅力や重要性を知ってもらうため企画したもので、①通船川護岸改修工事現場(津島屋工区)と②山の下閘門排水機場を見学しました。

そのときの様子を以下に紹介します。

出発式



出発式の様子

県立新潟工業高校の玄関前で出発式を行いました。
見学の行程を説明して、2班に分かれて出発しました。

通船川護岸改修工事現場(津島屋工区)



通船川護岸改修工事現場(津島屋工区)

最初に、県の担当者から通船川の整備概要を説明しました。

通船川の整備は、3つの工区に分けて進めており、そのうちの1つが津島屋工区です。ここでは、魚類が生息しやすいよう護岸に魚巢ブロックを採用しています。



通船川整備概要の説明(県)



工事概要の説明(施工業者)

次に、施工業者から工事概要を説明しました。現場代理人から騒音に配慮した工事を行っていることや、腐食した既設矢板の引き抜きに苦労したことなどの話があり、生徒のみなさんは熱心に聞いていました。

また、地盤改良のための薬液を混ぜて固める実験を行い、濃度の違いにより固まる速さが違うことに驚いていました。



地盤改良のための機械(バワーブレンダー)



薬液による固化実験をする生徒のみなさん

通船川は以前の阿賀野川の河道跡で地盤が良くないため、地盤改良してから護岸改修を行います。

生徒のみなさんは、地盤改良工事や生物に配慮した施工などに興味を持って話を聞いていました。



現場見学会終了

山の下閘門排水機場



開会あいさつ

県の担当者から①ゼロメートル地帯と地盤沈下、②新潟地震と山の下閘門排水機場の建設、③平成10年8.4水害について説明しました。
合わせて、降雨時の浸水区域を想定した映像を見て、改めて新潟地域の地盤の低さに驚いています。



学習の様子

次に、排水ポンプを見学しました。山の下閘門排水機場では、通船川の水をポンプで信濃川に排水し、水位を維持しています。これによりゼロメートル地帯が広がる東新潟地域を水害から守っています。



排水ポンプ

続いて、閘門を見学しました。閘門とは、水位差のある川と川を通航するための施設で、山の下閘門のような観音開きのゲートは全国的にも珍しいものです。
通船川の水位は信濃川に比べ約2メートル低いため、閘門を開けると勢いよく水が流れ込みます。
生徒のみなさんは、水位の違いや水の勢いに驚きの声を上げていました。



閘門

見学会を終えて

建設産業は地域経済を支え、県民の安全・安心な生活を守る本県の基幹産業です。
今回の見学会では、未来の建設産業を担う高校生に工事現場と地域の安全・安心を守っている施設を見学していただきました。
生徒のみなさんには、学校で学べない生の「土木事業」を体験していただくよい機会になったのではないかと思います。これから「土木」を学び、将来は建設産業に携わっていただきたいと思います。

◇このページに関するお問い合わせは

新潟地域振興局地域整備部

住所：951-8575 新潟市中央区川岸町3丁目18番1号

電話：025-231-8302 ファクシミリ：025-231-8317

電子メール：ngt112140@pref.niigata.lg.jp

[このページの先頭へ](#)

[このサイトの使い方](#) [個人情報取り扱い](#) [著作権リンク等](#)

Copyright(C) Niigata Prefectural Government.All Rights Reserved.

新選戦ホーム ▶ 建設・まちづくり ▶ 【村上】村上桜ヶ丘高校の生徒の皆さんを対象に建設現場環境学習会を開催しました。

[illegible]

新潟県ホーム ▶ 建設・まちづくり ▶ 【十日町】大地の芸術祭2015 トヤ沢砂防えん堤に約1万1千人の来場をいただきました

【村上】村上桜ヶ丘高校の生徒の皆さんを対象に建設現場見学会を開催しました。

【土月町】大地の芸術祭2015 トヤ沢砂防えん堤に約1万1千人の来場を
いただきました

2015年07月28日

2つの道路工事現場を見学

[illegible]

トヤ沢砂防えん堤展望台にお越し下さりありがとうございます。

2015年09月17日



国道290号大島バイパスの工事説明を聞いています。

バックホウの運転席を体験しました！



新しい旭橋の仮設足場を歩きました(大興奮！)

鉄筋の結束を体験します。なかなかうまくいかない？



暮らしを支える建設産業の話を真実に聞かれています。

十代の若手職員の体験談を聞きました。

地域振興局での様子

開催中の展望台の様子

展望台では十日町地域整備部の職員が、砂防ダムや作品の説明を現地に設置したパネルで行い、多くの人に興味・関心を持っていただきました。

見学者の質問や感想としては、

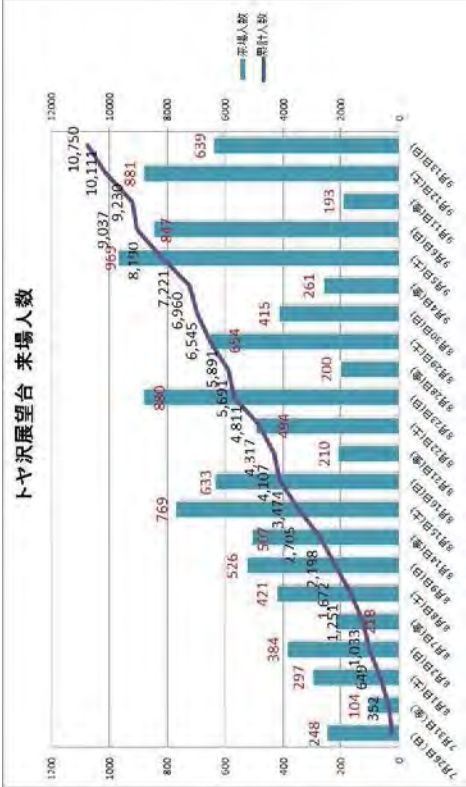
- セルシ式砂防ダム本体が芸術作品だと思った。
茶色い日本製の木で出来ているにこんな災害があったとは知らなかった。
東日本大震災の翌日にこんな災害があったとは知らなかった。
なぜ重なるセルシだけ低下しているの？(そこから水を流すのです)
土砂がコンクリートのダムだと思った。崩落した土砂が中に入っていた。土砂をためるダムとは知らなかった。非常に入っけりました。



説明時の様子。多くの児童者が砂防えん堤の説明を最後まで聞いて下さいました。



説明時の様子。ダムを視ながら説明を聞くことにより理解が深まるようです。



展望台への来場者数集計

◇このページに関するお問い合わせは
十日町地域振興局地域整備部
住所：948-0037 十日町市委員会西2丁目1番地
電話：025-757-5522 ファクシミリ：025-752-5329



新潟県
あ あ あ
参考資料③

健康・福祉 暮らし・環境 産業・労働・まちづくり 教育・文化 施策・行政 お知らせ・ご案内
新潟県ホームページ \$ 建設・まちづくり \$ 【長岡】開通前の巾ノ橋で落書き大会を開催しました

【長岡】開通前の巾ノ橋で落書き大会を開催しました

2015年11月11日

紅葉も鮮やかな11月7日(土)
巾ノ橋建設現場において、地元のみなさんを対象に開通前の巾ノ橋に落書きをするイベントを開催しました。
身近な公共土木施設に愛着を持ってもらうことを目的に企画したもので、沖布、天平、大野原の3地区で総勢24名から参加していただき、
幅4メートル、長さ30メートルの大きなキャンバスに水性ペンやチョークを使って、思い思いの絵を描いていただきました。

落書き大会の様子



橋面を彩るすばらしい作品の数々



工事関係者には一番嬉しい言葉です。



参加していただいた皆さん
ありがとうございました。

新しい巾ノ橋は、平成28年3月に開通する予定です。
描いていただいた絵は、開通前にアスファルト舗装をして永久保存します。
参加者のみなさんも楽しい思い出として記憶の中に残ることでしょう。

**小学生のための
仕事帰りの森**

参加無料
予約不要

いろんな仕事を体験しよう!!

平成27年

8月22日(土)
10:00~15:00
(最終受付14:30)

(最終受付 14:30)

も来るようにしたい

会場：新潟県立上越テクノスクール

[illegible]

＜お問合せ＞ 新潟県立上越テク／スクール TEL025-545-2190 (平日 9:00 ～ 17:00)

にぞも仕事塾体験コーナー



祝

北陸新幹線

『上越妙高駅』開業！

★ 北陸新幹線PRコーナー ★
★ 新幹線キーホルダーをつくらう ★

保護者の方へ

★小学2年生以下は保護者の同伴でお願いします。★万一の事故・怪けに備えて、テクノスクールで傷害保険に加入しますが、参加者のご負担はありません。★集合時間はあまり遅くありませんので受付時間内に来場ください。★体験は小学生に限らせていただきます。★体験によって数に限りがあるものや、定員制のコーナーもありますので、待ち時間が生じたり体験できないこともあります。あらかじめご了承ください。★休憩所では食事が可能です。★お昼にはクッキーの販売があります。★体験は汚れても構わない服装でご参加ください。

★建設機械でスパーボールをすくおう

★そくりよう機器をつかってみよう

★ 看護師さんの仕事たいけん

★オリジナル滑しゴムづくり

★ゲームを通じて福祉を学ぼう



小型バックホウ
そくりよう機器

そうさ体験もあるよ!!





魚沼を支える建設産業の
スペシャリスト達を紹介する

かわら版

新潟県
参考資料②⑤
2015.12
No.25

私たちの暮らしを守り魚沼の発展を支えている大切な土木の仕事ですが、大型機械に触れたり、従事している人たちの話を聞く機会がそうありません。そこで、もっと土木を身近に感じ、理解を深めてもらおうと開催したのが「**土木フェア**」です。

土木の世界にふれあう機会 土木フェアを開催しました

除雪車などの大型機械に乗れたり、工事現場の特殊な装備を着けたりと、特別な体験ができる土木フェア。クイズに正解すると景品がもらえるなどチャレンジ精神もかき立てられる内容でした！

ロータリー除雪車で記念撮影



建設業協会や測量設計業協会の協力により開催された土木フェア。企画に携わった今岡さんにお話を伺いました。



レールヒーターが故障する中、運転席に座ってお母さんから写真を撮ってもらおうと思わず笑顔に！

土木フェアの佳句人

新潟県建設業協会 魚沼支部青年部 井上建工業株式会社

試行錯誤の繰り返し

土木フェアを始めた頃は戸惑いの連続でした。開催までに何回も会場に足を運び、青年部のメンバーでレイアウトや内容を何回も打合せたことを思い出します。いざ開催となり盛況に喜んだのもつかの間、予想以上の長蛇の行列に急きょ整理に追われたりしました。安全対策も大切で、子ども達がすり抜けて落ちてしまいう恐れのある高所作業車の荷台にはネットを巡らしたり、高い位置にある除雪車の運転席に上りやすくするために階段や手すりを付けるなどしました。



高台工場の付いたネット、子ども達がはしゃいで走り回らうとするのも、

操作体験は貴重な体験

除雪車の運転席には見慣れない計器やボタンがたくさんあり、回転灯が点灯したり、雪を飛ばすシャワーが回転したりします。「このスイッチは何が動くの?」「どういうときにレバーを動かすの?」など質問攻めにあうことも。中には「お父さんが乗っている!」と教えてくれる子どももいます。個人的には、バックホウの操作体験がおススメです。たった2本のレバーの操縦で、回る、すく、置くが体験できます。私たちが一緒に操作するの



で安心です。



今年はスペースの都合で実施しなかったバックホウの操作体験。ボタンや装置の説明にも自然と熱気が、聞く側の子ども達も真剣です。

今岡 真人さん



高台工場の付いたネット、子ども達がはしゃいで走り回らうとするのも、



地域と共に歩む
高所作業車に乗り、眼下に見える家族に手を振る子ども達の姿は、顔を見なくても嬉しそうだとわかります。「開催してよかった」と心から感じる瞬間です。土木フェアは大変ですが、やめたいとは思ったことは一度もありません。むしろ、どうやって喜ばせようか、どうやって土木を身近に感じてもらうか、考えることも楽しいくらいです。土木は地域と共に地域を守り、地域を育て、地域を発展させられる大切な仕事です。そんな土木の魅力を感じてくれた子ども達と一緒に、いつか一緒に働ける日が来るといいですね。



ボタンや装置の説明にも自然と熱気が、聞く側の子ども達も真剣です。

大農業祭と土木フェア 10月17日(土) 響きの森公園にて

日本のコシヒカリや、みずみずしい野菜など、魚沼の名産品を買ったり食べたりできるJABA魚沼大農業祭。地域の大きなイベントに併せて土木フェアを開催することで、たくさんの方から土木の仕事に触れていただくことができました！

ロータリー除雪車



測量機械で距離当て



行列ができる高所作業車



土木の魅力をはなれ紹介



響きの森公園マップ



ロータリー除雪車



測量ゲーム



ハナタリ展示



魚沼の美味しい食材が並んだ大農業祭



測量ゲーム



土木と一緒に魚沼を盛り上げたい! きんちゃんのハム工房 米山さんご家族

衝撃を受けたハムの味

家族だった養豚を継いだのですが、高校時代に授業で作ったハムの味を忘れることができた、また努力次第で利益を上げることができ、魚沼をもっと元気にできるのではないかと考え、地元でハム工房を始めました。

子ども達に大人気!

農業祭に出店してから10年以上。今ではうちのブースを見つけて「あっ! ぐるぐると回れ!」と言ってくれるようになりました。「地元のお店」と思ってもらえるのは嬉しいです。インターネットでも販売していますが、やっぱり顔を合わせてお話ししながら、お客さんにある商品を紹介したいですね。幸い大雪が降っても道路が通行止めになることはありません。いつでもお待ちしております!

土木と一緒に魚沼を盛り上げる

大雪でも通れる道路は「当たり前」になっている除雪があるからこそです。朝起きて屋根には山のように雪が積もっても道路に積もっていることはありませんからね。本当に大変な作業をしていてくれるんだと改めて感謝です。そんな魚沼のために頑張る土木の皆さんと、魚沼が元気になるようなことを仕掛けていけるといいですね。



親子二代で作るハム工房。きんちゃん、山梨入もおいしそうです!

せせらぎのあと 青年部の皆さんは除雪学習会の講師もされています。ある日学校に伺うと「土木フェアで除雪車に乗ったよ!」と声を掛けてくれた子どもがいました。土木の現場で働く人たちの魚沼への想いは、少しずつではありますが確実に次の世代に伝わっています。その繰り返しが「魚沼の心の温かい人」を育てていくのかもしれないですね。

新潟県魚沼地域振興局地域整備計画調整課

〒946-0004 魚沼市大塚新田 91-4 TEL: 025-792-4071 FAX: 025-792-7401
URL: http://www.pref.niigata.lg.jp/uonuma_seiby/ email: ng1111540@pref.niigata.lg.jp



6月30日(火)に佐野目水防センターで会津工業高校の保護者との意見交換会を実施しました。
会津工業高校とは3月に実施した「地元企業を学ぶ会」をきっかけに、進路担当の先生と情報交換をしています。今回、保護者と企業見学会を行うとのことで事務所の説明時間も頂きました。行程上、場所は道の駅「あいづ」横の水防センターとし、防災ステーションの説明と合わせ北陸地整の仕事や若手技術者との意見交換会を実施しました。出席者は保護者が1年生から3年生までの25名と教員8名です。若手技術者との意見交換では、事務所からは竹島技官より整備局で行っている機械と電気通信業務の紹介を行い、企業代表として昨年度防災ステーション工事を請け負った地元A社にご協力頂き、4月に入社したOB(建築科卒)より近況報告して頂きました。

★保護者の笑いと感動を呼んだA社穴沢さん(19歳)の説明を一部紹介します。
「...入社前の建設業のイメージは3K(危険、汚い、キツイ)と職人さんが怖いと思っていました。いざ入社して現場にでると案の定、見た目が怖い職人さんが沢山いて、この仕事が続けられるか不安になりました。しかし、いざ話してみると皆さん優しくておもしろくて毎日の現場がすごく楽しいです。人を見ただけで判断してはいけないと思いました。今現場でやっている作業は、レベルを見たり、工事写真撮影の手伝い、墨だしを行っています。どれも失敗できないことなので日々緊張してやっています。現場に出ていると1日1日があっという間に終わります。私の友達に工場に勤めた人がいるのですが、その友達は1日が長くて仕事がつまらないと言っていました。...」



竹島技官による業務紹介



穴沢さんの自己紹介



説明を聞く保護者の皆さん



お魚さん還ってきてね。 ～小学生を招いての稚魚放流イベント～

北陸地方整備局・信濃川下流河川事務所
参考資料⑱

現在、信濃川下流河川事務所管内では、河道掘削事業を進めております。その河道掘削現場の一つ、加茂市域で施工する施工業者が加茂川漁業協同組合さんとともに、去る6月23日に加茂市立須田小学校4年生、加茂西小学校5、6年生計32名を招いての稚魚放流イベントを行いました。後日いただいた作文では、やはり稚魚(ヤマメ)の放流が印象深かったことが伺えますが、事業説明や過去の洪水・水害についてもある程度関心を示していただき、またイベントを通じて河川美化意識が高まったとの感想もいただき、少しでも思い出の片隅に残るイベントになったかと思います。



真剣に聴いて下さる生徒さん



現場代理人・当方職員を捕まえ質問



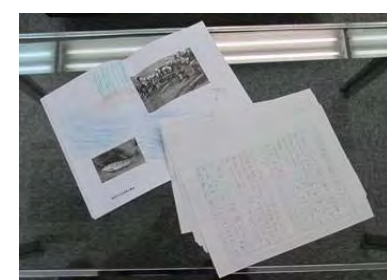
ヤマメ2800匹を放流



重機は大人気(引率教諭監修)



現場で発生した竹を使った竹とんぼ作り



後日いただきました作文

新潟市内の事務所が協力し、10月24日(土)に新潟工業高校の文化祭でパネルとビデオによる事業PRを行いました。阿賀野川から治水対策事業のパネル11枚の他、TEC-FORCEのパネル5枚、信濃川下流河川事務所から治水対策や海岸事業のパネル32枚、新潟国道事務所から萬代橋や橋梁補修のパネル11枚と萬代橋の模型を展示しました。また、スクリーンを設置し事務所のPRビデオも上映しました。

沢山の保護者の方が展示教室に来場し、パネルやビデオを熱心にご覧になっていました。保護者の方からは、「北陸地方整備局に就職したらどんな仕事をするのですか」など、質問がありました。

昨年10月に北陸地方整備局主催で、保護者対象の現場見学会・意見交換会を行いました。そちらに参加された方もられ、「昨年は大変お世話になり、おかげさまで就職も決まりました」とお話がありました。

これからも建設界の担い手確保のため、文化祭への出展など積極的に取り組んで行きます。



青海小学校児童23名が歌高架橋架替え現場を見学

北陸地方整備局・高田河川国道事務所
参考資料③⑩

10月23日(金)に糸魚川市立青海小学校の児童23名が『国道8号歌高架橋架替え事業』の現場見学会に参加しました！

本見学会では、歌高架橋が無くてはならない大切な橋であり、塩害に強い寿命100年を目指した新しい歌高架橋へと生まれ変わることを説明しました。

小学生はラジコンヘリ・ドローンでの記念撮影、高所作業車の試乗や無人バックホウの操作を体験し、とても楽しそうでした。

今回の現場見学会で、歌高架橋のありがたみや建設界の魅力を知ってもらえたと思います。



鉄筋を結束している児童



ドローンでの記念撮影



高所作業車に試乗している様子



無人バックホウの説明を聞く児童

新潟工業高等学校の保護者と現場見学会 及び意見交換会を実施

北陸地方整備局・企画部 他
参考資料③①

平成27年10月31日(土)、「産(新潟県建設業協会、建設コンサルタンツ協会北陸支部、新潟県測量設計業協会)・学(新潟工業高等学校)・官」の3者が連携し、新潟工業高等学校土木科の保護者10名を対象に現場見学会＆意見交換会を実施しました。意見交換会には、同校のOBの方々をパネラーとして迎え、建設界への就職した経緯などお話を頂きました。参加した保護者の方からは、「建設業はこれから有望な業種なのか」、「安定して仕事があるのか」など、建設業界の将来性についての質問がありました。

終了後のアンケートでは、建設界への理解が深まったという回答を得ることができました。

現場見学会



○阿賀野川河川事務所
六郷堤防浸透対策工事



○ネクスコ東日本
磐越自動車道 吉津トンネル工事

○現場見学会での感想

- ・普段見ることのできない現場を見学できて良かった
- ・現場が整然としているのが印象に残った
- ・土木についての仕事に理解を深めることができた
- ・見学したことを、どのように子どもに伝えるかが大変だと思った

意見交換会



意見交換会の状況

○意見交換会での主な発言

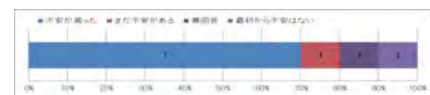
- ・建設業はこれから有望な業種なのか、安定して仕事があるのか
- ・高卒の採用はあるのか
- ・在学中に取得しておく資格があるか
- ・高卒で就職した方がいいのか、大卒で就職した方がいいのか
- ・公務員の選択肢が増えた

アンケート(保護者10名)

(1) 本日の会に参加されて、建設界に関する理解が深まりましたか。



(2) 本日の会に参加されて、お子様を建設界に入職させることについて



アンケート結果では、7割の方が建設界に関する「理解が深まった」と回答し、また建設界に入職させることについて7割の方が「不安が減った」との回答を頂き、建設界への理解を深めていただくことができました。

新潟大学の「社会基盤工学概論の講義」 への非常勤講師の派遣

北陸地方整備局
参考資料③②

【開催要旨】

- 新潟大学の「社会基盤工学概論の講義」非常勤講師として、北陸地方整備局より地方事業評価管理官が講義を担当(各1コマ担当)。
- 私たちが暮らしているまちには、橋、道路、港湾・空港、上下水道、公園、河川、鉄道などの社会基盤施設があり、快適で便利な生活が営われている。これらの施設を環境との調和を考えて、計画、設計、施行、維持管理し、自然災害から人命を守る技術体系を学ぶ学問分野が社会基盤工学である。本講義では、市民生活を支える社会基盤工学の役割を分り易く解説する。

【平成27年度の実施状況】

平成27年10月28日(金) 企画部 地方事業評価管理官
(テーマ) 地域の活力を支える社会資本整備

1. 社会資本整備とその効果、2. 近年の主な災害とその対応、3. 新潟バイパスの歴史(新潟市の景観形成に寄与する道路整備)、4. その他

【参加者】 新潟大学 1年生 約90名



講義資料



社会資本整備の講義



学生との質疑の状況

長岡技術科学大学への非常勤講師の派遣

北陸地方整備局
参考資料③

【開催要旨】

- 長岡技術科学大学の「建設デザイン論」非常勤講師として、北陸地方整備局より企画部長、企画調査官、信濃川河川事務所副所長が、講義を担当（各1コマ担当）。
- 就職活動前の進路決定前のタイミングで、建設分野の仕事や土木行政についてよく知ってもらうことが目的。

【平成27年度の実施状況】

平成27年4月24日（金）小口企画部長

（テーマ）北陸地方における防災と社会資本整備

平成27年8月 6日（金）大儀企画調査官

（テーマ）地域の活力を支える社会資本

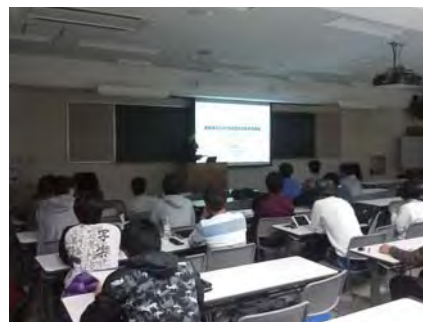
信濃川河川事務所 木村副所長

（テーマ）信濃川における治水の歴史

【参加者】 長岡科学技術大学 建設工学課程 3年生 約40名



社会資本整備の約割について講義



北陸地方における防災と社会資本整備の講義



地域の活力を支える社会資本の講義

長岡工業高等専門学校への非常勤講師の派遣

北陸地方整備局
参考資料④

【開催要旨】

- 長岡工業高等専門学校の「環境都市工学演習」の非常勤講師として、北陸地方整備局より地方事業評価管理官他が、講義を担当（各1コマ担当）。
- 北陸地方の社会資本整備について連続した講義を実施（道路事業は現場見学と講義をセットで実施）。
- 来年のインターンシップ、再来年の進路決定にあたり、建設分野の仕事や土木行政についてよく知ってもらうことが目的。

【平成27年度の実施状況】

平成27年10月23日（金）今野地方事業評価管理官

（テーマ）地域の活力を支える社会資本整備

平成27年11月19日（木）長岡国道事務所 岡田建設専門官、

小杉土建工業(株)、開発技建・開発技術コンサルタント設計共同体

（現場）国道8号日越跨線橋 橋梁補修工事

平成27年11月20日（金）長岡国道事務所 ①嶋倉調査課長、②高橋係長

（テーマ）①「道路事業について」、②「直轄国道の日常管理」

平成27年12月 3日（木）信濃川河川事務所 日野副所長

（テーマ）河川の整備と維持管理

【参加者】 長岡工業高等専門学校 環境都市工学科3年生 42名



社会資本整備の講義



橋梁補修工事の現場見学



道路の整備と維持管理の講義



河川の整備と維持管理の講義

ようこそ！！後輩！
～建設界の未来を担う高校生が参加～

北陸地方整備局・高田河川事務所
参考資料③⑤

平成27年7月10日(金)、16日(木)、新潟県建設業協会、新潟県上越地域振興局と協力して、将来を担う若手技術者の卵に建設業界の魅力をPRしました。
新潟県立上越総合技術高等学校(10日)環境土木科2年生29名、新潟県立高田農業高等学校(16日)農業土木科2年生37名が、国道18号妙高大橋架替事業の下部工事現場での見学にあわせて、各高校を卒業した先輩職員から経験談などを含めた説明を行いました。
生徒からは「こういった建設関係の仕事に就きたいと思う。これからの進路の判断材料にしたい」と言っていました。



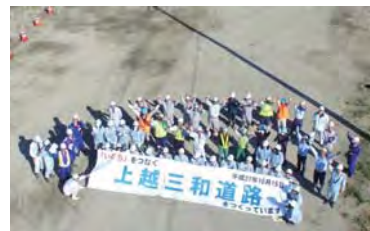
見て、触れて、技術を体感！
～高校生が「国道253号上越三和道路」の工事現場を見学～

北陸地方整備局・高田河川事務所
参考資料③⑥

平成27年10月15日(木)新潟県立上越総合技術高等学校の環境土木科3年生25名が、国道253号上越三和道路の工事現場を見学しました。
現場では模型を使った軟弱地盤対策工法の実演や盛土補強に使うジオテキスタイルの敷設作業体験、鉄筋を針金で結ぶ作業など、実際に体験してもらいました。
また、多くの女性の生徒も参加されました。女性が働きやすい職場を実現するための衛生環境改善施設についても見学していただき、意見を頂きました。
既に進学や就職等の進路が決まっている生徒も多く「普段学校ではできないことが経験できた。進学先で自慢したい」や「体験を通して仕事に興味がわいた。就職先で活かしたい」などの感想をいただきました。



模型を使った軟弱地盤工法の実演



ジオテキスタイルの敷設



女性が働きやすい環境
トイレ・パウダールーム



鉄筋の結束作業



ジオテキスタイルの固定作業

子どもたちに語り継ぐ「7.11水害」の記憶 ～ 上越教育大学 山縣先生とともに全3回(計7日)出前講座を開催～

北陸地方整備局・高田河川事務所
参考資料⑳

「7.11水害」20年事業の一環として、失われつつある当時の記憶、教訓を次世代に伝え、将来起こる水害に対する心構えを身につけてもらうため、上越市立春日新田小学校4年生を対象に、上越教育大学大学院山縣教授とともに、高田河川国道事務所が「7.11水害と洪水に対する備え」に関する出前講座を行いました。

生徒達は、洪水について学び、通学路の危険箇所を地図に示すことなどを行い、洪水に対する備えについて理解を深めてもらいました。

◆学年・人数：4年生 計127名(4クラス)

◆日 時：第1回 平成27年11月 6日(金)、9日(月)
第2回 平成27年11月12日(木)
13日(金)、16日(月)
第3回 平成27年11月26日(木)、27日(金)

◆場 所：上越市立春日新田小学校
教室及び校外

◆講 師：国立大学法人上越教育大学 大学院学校
教育研究科社会系教育講座 山縣教授

◆講座内容：

第1回(教室) ～水害について知る～

- ・「7.11水害」について
- ・なぜ関川では洪水が起きるのか
模型を使って高田平野のできかたを学習
ものさしを使って上越の降水量について学習

第2回(校外) ～水害の記憶、教訓を学ぶ～

- ・地元町内会長から水害当時の様子について
- ・洪水時の危ない場所、避難場所

第3回(教室) ～水害に備える～

- ・地図で通学路の危ない場所、避難場所を確認
- ・「7.11水害」と洪水ハザードマップとの関係
- ・洪水が起きた時にとるべき行動



高田平野のできかたを学習
(第1回講座)



水害当時の様子を学習
(第2回講座)



地図で通学路の危ない場所、
避難場所を確認 (第3回講座)



「7.11水害」と洪水ハザードマップ
との関係を学習 (第3回講座)

「河川と海洋の連続性に対する生態的理解を促すために」 ～ 森と川と海に関する講座を開催！！～

北陸地方整備局・高田河川事務所
参考資料㉑

平成27年12月10日(木)東京学芸大学 環境教育センターと高田河川国道事務所が協力して、「森と川と海の環境に、つながりがある」ことに関する講座を実施しました。この取り組みは、国土交通省と東京学芸大学 環境教育センターが協働で行っているものです。

新潟県立海洋高等学校水産科1年生80名を対象に、高田河川国道事務所が「河川における治水と利水の意義」「河川の生態系を考慮した整備」「河川整備を行う上での地域住民との合意形成」について説明し、東京学芸大学は「森林と河川の役割」「森と海の連続性(つながり)」についての説明を行いました。



東京学芸大学大学院 田代さんによる講義



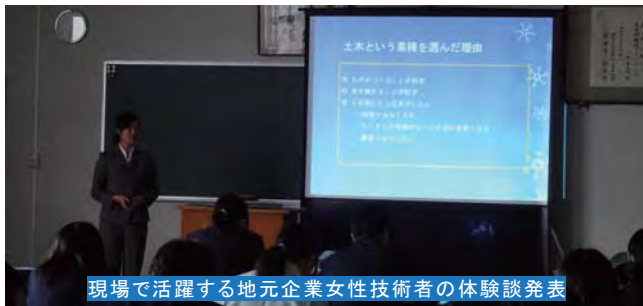
高田河川国道事務所 吉田調査第一課長による講義

「そだ建設業へ行こう！」 ～H27 建設産業の仕事講座を開催！！～

北陸地方整備局・高田河川事務所
参考資料③⑨

上越地域の建設業の担い手となる、新潟県立高田農業高等学校農業土木課選択者1年生39名、同上越総合技術高等学校環境土木科、建築・デザイン科2年生63名を対象とした「H27 建設産業の仕事講座『そだ建設業へ行こう！』」（実施団体：両高等学校、新潟県建設業協会上越支部青年部会、新潟県上越地域振興局、高田河川国道事務所）を12月8日（農業）、同16日（総合）に開催し、建設業への関心、理解を深めてもらいました。

建設業の役割や地域との関わりなどについて説明するとともに、女性技術者も含めた現場技術者から体験談が発表され、生徒には、仕事のやりがいや魅力について感じ取っていただき、建設業に興味を持ってもらえたようです。



現場で活躍する地元企業女性技術者の体験談発表



高田かわこく職員によるTEC-FORCE体験談発表



地すべり対策の体験談を発表する上越地域整備部職員



発表者の体験談を熱心に聞いている生徒たち

「けんせつフェア北陸in金沢2015」において、担い手の確保、 育成の取り組みを推進するため、石川県内の学生を招待

北陸地方整備局・北陸技術事務所
参考資料4④⑩

平成27年10月16日（金）、17日（土）において、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場、担い手確保の広報の場として、石川県産業展示館4号館において、「けんせつフェア北陸in金沢2015」を開催しました。

担い手確保、育成の取り組みを推進するため、石川県内の大学、高等専門学校、高等学校の学生を招待し、建設業界の最新技術、とりまく環境、課題等について、みて、ふれて、知る機会を提供しました。



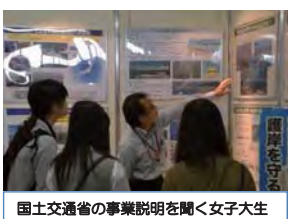
パネルディスカッションを聴講する学生



けんせつ小町座談会の聴講する学生



展示ブースを見学する大学生



国土交通省の事業説明を聞く女子大生



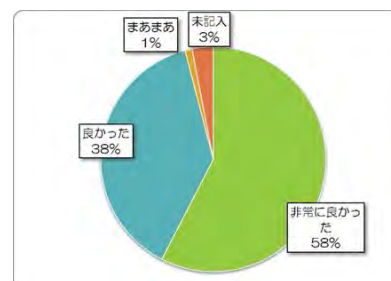
合同企業セミナーに参加する高校生



民間ブースで説明を聞く高校生

アンケート

○フェア全体の印象（学生）



学生招待における印象は、「非常に良かった」が58%、「良かった」が38%を示しており、理由として「出展者の説明が親切・丁寧で分かり易かった」、色々な体験ができた」が全体99件中43件の回答となっている。



無人化施工技術を体験する高校生



屋外展示ブースを見学、体験する学生

未来の担い手へPR

～国営越後丘陵公園で第26回土木フェスティバルを開催～

北陸地方整備局・国営越後丘陵公園事務所
参考資料④

平成27年10月4日(日)に開催した土木フェスティバルに、多くの親子連れで賑わいました。フェスティバルは、土木・防災に関するパネル・土木機械展、現場見学会を通じて土木に対する理解とイメージアップを目的に行いました。建設機械好きのちびっこが、未来の建設界を担うことを期待します。

主催：新潟県長岡地域振興局地域整備部、長岡市、東日本高速道路(株)新潟支社長岡管理事務所、新潟県建設業協会長岡支部、信濃川河川事務所、湯沢砂防事務所、長岡国道事務所、北陸技術事務所、国営越後丘陵公園事務所

屋内・屋外会場



屋外会場：土木/防災用機械の展示・体験・実演

屋内会場：土木/防災用パネル・模型などの展示

現場見学会



【Aコース】
大津津分水路～長岡北スマートIC建設工事現場

【Bコース】
刈谷田川ダム～芋川地区(山古志)砂防・地すべり対策工事現場

新聞報道

『H27.10.11 長岡よみうり』において、イベントの報道あり。

ラジコンPR作戦、大盛況!! ～信州環境フェアに初出展～

北陸地方整備局・千曲川河川事務所
参考資料④

信濃毎日新聞や長野県などが主催する**信州環境フェア2015**に千曲川河川事務所が**初出展**しました。8月22日(土)、23日(日)に長野市ビックハットで、ストック効果のパネル展示やラジコン重機による、ミニチュア河川改修事業を行いました。



職員の手作り模型

メイン企画は、ラジコンによる河川工事体験です。開場時からお客さんが、引きも切らずやってきて、用意していた整理券があつという間に無くなる程の大盛況でした。パネル展示や事業概要をはじめとする各種パンフを配布・説明し、アピールするとともに、**将来の担い手確保として建設業のイメージアップに大いに寄与した**と思います。

○参加者からの声

「国土交通省も中々おもしろい事するね。」
「多自然川づくりって大事だね」
「河川事業というのは時間がかかるもんなんだね」

一般の方より、日頃散歩中に千曲川で気になる事や区の防災担当になった方からの出水時の対応の相談など、直接様々な意見を聞けました。



ラジコン体験に子供たちは大興奮!!

子供たちの川に対する想いを絵に！ ～千曲川・犀川ふれあい絵画コンクール～

北陸地方整備局・千曲川河川事務所
参考資料④③

昨今、洪水の被害など報道されることが多く、川は危険な所というイメージになり、子供たちを近づけない風潮があります。この企画で少しでも河川に親しんでもらおうと考えているところです。

小・中学生を対象に、千曲川・犀川の持つ魅力や自然の変化を、絵画に描くことを通じて、自然環境、景観、自然の脅威、河川改修事業などについて学んでもらうことを目的に、「千曲川・犀川ふれあい絵画コンクール」を昭和60年から毎年開催しています。

第31回となる平成27年度は、総数264点（小学校低学年139点、小学校高学年41点、中学生84点）の応募があり、審査の結果、金賞3点、銀賞3点、銅賞9点、入選30点の合計45点の入選作品を選定しました。



小学校低学年の部



小学校高学年の部



中学生の部

12月19日（土）、入賞者15名に対し**表彰式**を長野市もんぜんぶら座にて開催しました。土曜日に開催したことで、優秀作品受賞者全員に参加してもらえ、多くの親御さん達が子供の受賞姿をみることができました。事務所長から賞状を受け取った後、自分の席で賞状を眺めて嬉しそうにはにかむ子供たちの笑顔がとても印象的でした。



飯山の中学生がふるさとの防災を学ぶ

北陸地方整備局・千曲川河川事務所
参考資料④④

7月21日(火)に飯山市立城南中学校 1年生96名が千曲川河川事務所見学に訪れました。



飯山市は、昭和57年の千曲川支川樽川堤防の決壊、翌58年の千曲川本川堤防の決壊により、2年連続で大きな被害を受けました。ふるさとの水害の記憶を風化させないため、水害の歴史や防災について当事務所で学習しました。

昭和58年水害の映像は、生徒たちが産まれるずっと前のことで、普段生活している場所での水害の様子に衝撃を受けていました。



照明車を実際に操作



災害対策室モニター等見学



S58飯山水害を資料と映像から学ぶ

「土木基礎力学」及び「測量」を履修している塩沢商工高等学校の2年生7名を対象に、授業と関連する「梁に作用する力」や「施工における測量技術」をテーマとし「橋梁の架設」を題材に取り上げ、講義(6/26)及び現場見学会(6/30)を長岡国道事務所が開催しました。架設時における力の作用を考えて各種工法が検討されていること、基準点により設置位置を求めていることなど、日頃学校で勉強していることが工事現場で実際に活用されていることを見学してもらいました。各工事の施工業者からは、将来、土木技術者となることを期待し、生徒が理解しやすいように図解入り資料を用いながら説明を実施しました。参加した生徒たちは、興味をもって、橋の架設状況について見学を行っていました。

講義



○学校での講義実施状況

現場見学会



○大型クレーンによる架設現場の見学
(岩之沢川2号橋上部工事)



○基準点の確認

感想等

○学校からのコメント

- ・日頃の学習と現場との関連の通じて、勉強への意欲向上が図れた。
- ・生活の向上のため、土木技術が果たす役割も理解させることができた。



○送り出しによる架設現場の見学
(庄之又川7号橋上部工事)



○光波による位置の確認

福島県立喜多方桐桜高等学校との現場見学会

福島県立喜多方桐桜高等学校建設科2年生を対象に平成27年11月10日(火)に現場見学会を実施。見学会は、建設業をイメージしやすいように身近な現場を見て頂くことと、同校を卒業した先輩との意見交換を各現場で実施。今回の企画は学校と福島県建設業協会と県喜多方建設事務所と国の4者が連携し実施。阿賀川では樋管改築工事と浸透対策工事を、また県では街路工事(無散水と無電柱化)と道路改良工事の4箇所を見学。樋管工事では堤防開削中のため、現場にて専門家より地質の臨時講義も実施。先輩からは「地図に残る仕事やりがいがある」「現場では色々な職種が力を合わせてもの作りをしている」「挨拶は大事。人の話を良く聞くこと」「高校の教科書は捨てないで」など熱いメッセージを頂きました。担当の先生から非常に効果のある見学会だったとの感想を頂きました。当日はアンケートも行い、建設界に関する理解も深まったとの回答を頂きました。



地質の臨時講義



街路工事の現場



先輩の指導による
材料検査を体験



先輩からのメッセージ



先輩からのメッセージ



マスコミ取材(NHK他3社)

○先輩との意見交換会はどうでしたか？

(アンケート32人)



○本日の現場見学会に参加されて、建設業に関する理解が深まりましたか？

(アンケート32人)



○建設業に就職することについての不安はありませんか？

(アンケート32人)



○現場見学会の感想

- ・普段あまり見れない地面の断面図が見れたので、良い経験になった。
- ・工事をしているのは知っていたが、何のためにしているのか分からなかったけど、今回の見学でよく分かり、すごく勉強になった。
- ・矢板の打設を見ることができ、貴重な経験になった。
- ・16mという長い矢板を毎分900ℓの水とバイブロハンマーを使う工事は、迫力があつた。

生徒アンケート結果

小学生の現場見学会

参考資料④⑦

一般社団法人
新潟県建設業協会
General Constructors Association of Niigata

小学校では、様々な体験を通して勤労観・職業観を育むとともに、身近な仕事への関心と地域社会との繋がり等を考えさせる取組みの「キャリア教育」を推進しており、ものづくり産業を支える「人づくり」に取組む当会として、これに協力し、小学生等が、社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に平成20年度から実施。

また、施設見学とともに、建設業が安心して暮らしていくために重要な役割を担っていることや建設業の魅力などを紹介する座学も設け、「建設界」について考える貴重な機会として、積極的に取り組んでおります。

終了後の感想文では、安全に快適に暮らすために、建設や土木に関わる人が努力していることへの理解が深まったという回答を得ることができました。

◇H27開催概要◇

【見学場所】

大河津分水可動堰・信濃川大河津資料館(燕市五千石)

【対象校】

- ・新潟市立 漆山小学校 (西蒲区)4年生34名 平成27年11月17日(火)
- ・新潟市立 木山小学校 (西区) 4年生10名 平成27年11月20日(金)
- ・新潟市立 山潟小学校 (中央区)4年生70名 平成27年11月26日(木)
- ・新潟市立 黒崎南小学校(西区) 4年生21名 平成27年11月27日(金)

◇感想文の主な回答◇

- ・建設業はおじさんばかりのイメージでしたが、女の人が現場監督の場所もあると聞いて、建設業のイメージが変わりました。
- ・お父さんも建設業の仕事をしていますが、建設業は「すごい」と感じます。
- ・大河津分水を作った建設業の人々の努力があったから、洪水がなくなり感謝したいと思います。
- ・大河津分水が作られてから、洪水は一度も起きていないので、私はこの大河津分水から守られていることが分かりました。
- ・分水路は人のため、そして新潟のために日々守ってくれている。

◇見学会の様子◇



(信濃川大河津資料館)



(大河津分水可動堰)



(大河津可動堰・操作室)

高校生の現場見学会

参考資料④⑧

一般社団法人
新潟県建設業協会
General Constructors Association of Niigata

県内の建設系高等学校の生徒に、建設工事現場の見学を通して、建設業の社会的役割と魅力等を理解してもらい、建設業への入職促進に資することを目的に平成3年度から実施。

終了後のアンケートでは、土木への感心が深まったので、これからの進路・将来に活かしていきたいなどという回答を得ることができました。

◇H27開催概要◇

実施日	実施校・見学現場
8.26(木)	塩沢商工高等学校 商業・機械システム科 2年生9名 ・情報提供館「いからし悠水館」 ・五十嵐川 遊水地造成工事現場 ・笠堀ダム ・八十里越 建設現場
9.15(火)	加茂農林高等学校 環境緑地科 2年生38名 ・大谷ダム ・八十里越 建設現場
10.15(木)	高田農業高等学校 農業土木科 2年生33名 ・区画整理工事現場 ・暗渠排水工事現場
11.9(月)	新発田南高等学校 建築工学科 2年生35名 ・胎内市総合体育館建設工事現場

【現場見学会での感想】

- ・普段見ることのできない所を見ることが出来て良かった。
- ・現場の雰囲気がとても良く、交流会では先輩の話を聞いて建設業の印象が変わった。
- ・具体的に建設関係の仕事について、知ることが出来て良かった。これからの進路に活かしたい。
- ・土木への感心が深まった。
- ・仕組みなど、いろいろな機械を使って計算しながら工事されていて、すごいと思った。

【アンケート結果(一部紹介)】

- ・現場見学会は参考になりましたか。
◇大変参考になった… 66.7% ◇少し参考になった… 33.3%
◇参考にならなかった… 0.0%
- ・卒業後の就職先は…建設関係に就きたい(その理由は…)
◇社会に貢献できる… 14.0% ◇創り上げる喜びがある… 58.1%
◇建設関係に知人がいる… 4.7% ◇その他… 23.2%



平成27年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

参考資料

【富山県部会】

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

- 北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的として、平成26年10月3日北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会を設立。
- 平成27年度の活動を推進するため、新たな取り組みの実施、取り組みの展開について検討。

開催概要

【富山県部会】平成27年6月19日（金）16:00～17:00

・【会場】富山河川国道事務所 3F会議室

・【出席機関】

【行政】北陸地整・富山河川国道、富山労働局・富山県土木部・教育委員会
 【建設産業】日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部
 【教育】富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校
 【オ・ザ・バ-】立山砂防、利賀ダム、伏木富山港湾、南砺福野高校

検討結果

- ①インターンシップにおいて、募集時期及び実施期間の拡大、募集時に公共交通の情報などきめ細やかな対応、参加日程の調整などの要望。
- ②現場見学会などは、県の支援もあることから、資料には富山県を追記する。
- ③建設界における情報共有として、「雇用管理改善促進事業」に関し、適用業種の改善の要望。
- ④南砺福野高校を「富山部会」正式メンバーとして、参加して頂くことで了解。南砺福野高校へは整備局の本会の規約改正までは正会員と同様に、情報共有を行う。



平成27年6月22日
建設工業新聞



担い手確保へ 課題情報共有
 北陸建設界協議会富山県部会
 北陸建設界協議会富山県部会が19日、富山市奥田新町の富山河川国道事務所であり、建設関係団体や教育機関の関係者ら約20人が建設界の課題について情報を共有した。
 協議会は担い手不足解消に向けて昨年10月に設置され、県部会の開催は今回が3回目。部会では、建設関係の資料がある桜井高校や富山工業高校、県立大学で建設業協会などが行う講座の内容や日程を確認したり、インターンシップで学生の受け入れを予定している県内の企業を紹介したりした。

平成27年6月20日
北日本新聞

連続講座の開設で継続的に担い手を育成

富山県立大学との連携

富山河川国道事務所

- 富山河川国道事務所と伏木富山港湾事務所は、富山県立大学環境工学科1年生を対象に今年度から年4回の連続講座を開設し、県内の河川、道路、港湾等の身近な社会資本を題材に、その目的と役割、地域との関わり合いについて学習しています。最終講座では、実際の施工現場を訪れ、講義内容の理解を深めると共に、現場の若手技術者と意見交換を行い、建設業の魅力に触れて貰う貴重な体験をしました。
- 本講義は今年度から初めて開設されましたが、来年度も年4回の連続講座が行われる予定で、建設業界への若手技術育成と建設業界のイメージアップに引き続き、取り組みます。

開催概要

【富山県立大学出前講座】

- 1回目 6/19 13:00～14:30 講義「富山の社会資本の役割（総論）」
- 2回目 6/26 13:00～14:30 講義「道路事業の進め方（道路）」
- 3回目 7/3 13:00～14:30 講義「港湾事業の役割（港湾）」
- 4回目 7/10 13:00～17:00 現場研修

「国道8号坂東交差点立体化・伏木富山港老朽化対策他」
 ・体験学習（特殊盛土と通常盛土の違い、最新測量体験、実際の器具を使った鉄筋結束作業体験）
 ・若手技術者（卒業生）が直接建設業界の魅力を説明

対 象 富山県立大学環境工学科1年生 44名



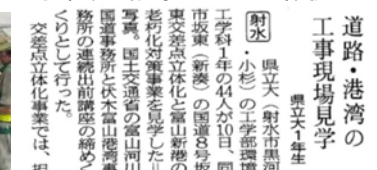
富山県立大学卒業生指導による測量体験



土質改良効果の簡易現地実験



富山県立大学卒業生OGによる事業説明



- ・富山河川国道事務所は、平成27年7月2日（木）坂東立体化工事箇所において、高岡工芸高校土木環境科3年生を対象とした現場見学会を行いました。
本見学会は、高校生が実際の現場に触れ「道路建設に関する重要性ならびに建設業界の魅力」について理解促進を図ることにより、建設業界の担い手確保と育成を目的として実施しました。

開催概要

【高岡工芸高校現場見学】

日時：平成27年7月2日（木）9時30分～11時

場所：一般国道8号 坂東立体化事業箇所（富山県射水市坂東地先）

対象：高岡工芸高校土木環境科3年生19名

内容：◇体験学習（特殊盛土と通常盛土の違い、最新測量体験、高力ボルトの締め付け体験）
◇若手技術者（卒業生）が直接建設業界の魅力を説明



土質改良効果の簡易現地実験



高岡工芸高校卒業生OBによる説明



橋梁の高力ボルトの締め付け体験



建設工業新聞（7月3日付）

「ドボジョが集合」～女性技術者の活躍推進の取り組み～

平成26年8月4日
富山河川国道事務所

【女性技術者が現場（職場）で活躍できる環境の創出に向けて現場見学会と意見交換会を開催】

能越道七尾氷見道路の工事で、女性が監理技術者を務める現場からの相談を受けて、富山河川国道事務所と地盤工学会北陸支部が協力して企画・運営。

意見が出やすくなるよう意見交換会は女性限定とし、現場での説明も女性の技術係長や監理技術者が務めた。



現場と重ダンプを背に記念撮影



会社は違ってもヘルメットのシール色は一緒

参加者どうしの交流を深め、活発な意見交換ができるよう、分野や立場の異なる41名の参加者を集合直後から6つのグループに組み分け

【女性技術者の内訳】

整備局（7名）、自治体〔富山市、金沢市、七尾市〕（10名）、建設会社（8名）、コンサルタント（6名）、調査会社（5名）、学生〔富山県立大、石川高専〕（5名）

★名札とヘルメットに貼付けるシールはグループ毎に変え、一体感を創出☆

現場見学では、情報化施工による大規模土工や大規模プロジェクトに欠かせないパイロット道路、CIM（Construction Information Modeling）等について、実際に工事に使われる重機や盛土材料を目の前で説明を受けた。

参加者からは、「大規模な現場で驚いた」、「最新のICT技術がこれから普及してほしい。」等の感想が寄せられた。



泥岩サンプルで測定実験



中波地区の切土工事で情報化施工を見学



各グループでまとめた意見は副所長に報告

現場見学会後に氷見市女良地区女性活動拠点施設に場所を移して意見交換会を開催

＜意見交換会のテーマ＞

- 女性の視点で見た現場に足りないもの
- 女性が技術者である事のメリット、デメリット
- 女性技術者に対する偏見
- 建設業に関心はあるが他業種と比較して建設業を女性の職業として選べない致命的な原因は何か

＜報告された意見の一例＞

- ・現場には女性用のトイレ、更衣室、休憩室がない。
- ・女性の体型に合った作業服がない。作業服がダサい。
- ・女性だから意識されすぎる。
- ・男性は愛想がないので、女性はオープンな現場づくり、業界の魅力発信ができるのではないかと。

これらの状況は、新聞4社で報道された。 ★意見交換会だけで聴き取れない意見はアンケートで補充★

けんせつ小町による「チーム合又川」が始動！

～小矢部川・合又川合流点処理工事の女性技術者たち～

富山河川国道事務所

- 小矢部川出張所管内の施工が始まった「小矢部川・合又川合流点処理工事」では発注側・受注側双方の女性技術者が「設計」「監督」「施工」の各部門の現場で、主導権をもって事業を進めています。また、支川管理者である富山県小矢部土木事務所の担当部署においても女性技術者が担当しています。
- 今後、現場が本格的に動き始めますが、樋門の完成、管理引き渡しに向けて女性技術者ならではの「きめ細やかさ」「しなやかさ」「したたかさ」で事業を推進し、建設現場の環境改善に努めて行きます。



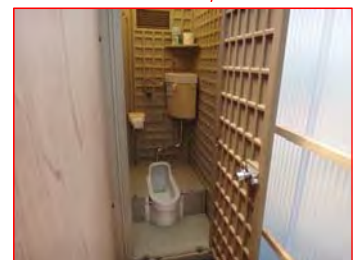
工事連携会議の実施状況



工事測量の現地確認状況



男性用（個室）とその奥が女性



現場事務所トイレ
女性専用、男性用（個室）
トイレは、もちろん水洗

現場事務所の環境改善状況

■工事の概要

- 工事名： 小矢部川・合又川合流点処理工事
- 工期： 平成27年6月30日～平成28年3月30日
- 概要： 小矢部川右支川合又川の合流点処理として樋門を施工



支川管理者との現地確認状況

黒部河川事務所 H27年度活動報告

1. けんせつ小町と女子学生の対談【女性の視点から見た建設業】

●H27. 8. 28(木): 女性技術者2名、女子大生3名、女子高生3名

2. 桜井高校土木部現地見学【身近な土木構造物を学ぶ】

●H27. 8. 3(月): 土木科8名、普通科7名、生活環境科2名

3. 桜井高校土木科現地見学【土木施設を見る・知る・学ぶ】

●H27. 9. 28(月): 土木科2年生40名

●H27.10.27(火): 土木科1年生40名

4. 石川高専現地見学【公共事業の役割を学ぶ】

●H27.10. 7(水): 環境都市工学科3年生41名

5. 富山県立大学出前講座【黒部川の総合土砂管理を考える】

●H27.11. 6(金): 講 義(工学部環境工学科2年生11名)

●H27.11.23(月): 現地見学(同上)

1

けんせつ小町と現役女子学生の対談



けんせつ小町と女子学生のガールズトーク ～女性の視点から見た建設業～

黒部河川事務所では、8月27日(木)に、女子大生3名、女子高校生3名、現役女性技術者2名により、建設業についての対談を行った。

対談は女性だけで、カフェ的な雰囲気の中でスタートし、けんせつ小町からは建設業に対するイメージや「土木構造物・工事現場」を見学したときの感想等について質問がなされ、学生の視点からいろんな発言が出された。また、学生からは建設業に就くきっかけ、学生時代のイメージと実際はどうか？等の質問があり、建設業の現状・将来、やりがいや問題点について、実体験を踏まえてけんせつ小町が答えていました。

特に女子大生からは、キャンプ砂防に参加中のため、土木に対する視野がいろいろ広がったとの意見をあつた。

最初は緊張した面持ちでしたが、談笑を交えながら対談が進むうちに場も和み、女性の立場からの貴重な意見が出され、有意義な意見交換となった。

対談の詳細は黒部河川事務所ホームページに掲載！

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/>

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会ホームページはこちら！

<http://www.hrr.mlit.go.jp/Leaders/index.html>

参加者の紹介

石川 美穂 いしかり みお
新潟大学大学院 自然科学研究科(環境システム科学専攻)卒
勤務先: 大島建設(株)
勤続年数: 14年
経歴: 現場代理人を兼任(平倉月ダム土木局電管作業・北陸電力関連維持管理作業など)し、現在は営業所で事務担当。既婚で子供2人。

高橋 美穂 くわはら みさと
金沢大学 工学部 土木建設工学科卒
勤務先: 黒部河川事務所 黒部川出張所
勤続年数: 7年
経歴: 平倉月ダム黒部川事務所建設工事の積算、立山砂防事務所建設設計や諸般業務などを担当し、今年の4月から出張所係長として工事監理や維持管理を担当。今回の対談でコーディネーターを務める。

宮内 桜 はりうち さくら
静岡大学 農学部 環境農林科学科
学年: 3年
「キャンプ砂防2015in黒部」に参加し、黒部ダム、平倉月ダム、砂防管理などを学ぶ。

宮本 直穂 きたにもと なおこ
京都府立大学 生命環境学部 森林科学科
学年: 3年
「キャンプ砂防2015in黒部」に参加し、黒部ダム、平倉月ダム、砂防管理などを学ぶ。

矢野 陽菜 やすぎ るみ
富山県立大学 農学部 生物資源学科
学年: 3年
「キャンプ砂防2015in黒部」に参加し、黒部ダム、平倉月ダム、砂防管理などを学ぶ。

富樫 彩乃 みやなり あやの
桜井高校 普通科
学年: 1年、部活: 土木部
8月3日に土木部の活動で平倉月ダムや黒部川などを学ぶ。

清水 結奈 しみず ゆい
桜井高校 土木科
学年: 1年
土木科唯一の女性で測量が得意。

稲井 麻月 ふくい なつき
桜井高校 普通科
学年: 1年、部活: 土木部
8月3日に土木部の活動で平倉月ダムや黒部川などを学ぶ。

●実施日時 平成27年8月27日(木)
13:45～15:15

●場 所 黒部河川事務所 会議室

●参 加 者 けんせつ小町 2名
女子大学生 3名
女子高校生 3名

* けんせつ小町とは建設界で活躍する女性技術者・技能者の愛称



全員で記念撮影・対談の様子

2

桜井高校土木部生徒 17名 身近な土木施設を見て学ぶ



黒部河川事務所では、8月3日(月)に富山県立桜井高校土木部を招いて現場見学会を開催した。

桜井高校土木部(山本大貴部長)は桜井高校の生徒のうち、ものづくりに興味を持つ生徒17名が集まって活動している。

今回は身近にある宇奈月ダム・黒部川を訪れ、ダムの役割や黒部川について学んだ。部員たちは、宇奈月ダム建設の目的や機能の説明を受け、実際に施設の点検に使う監査廊等のダム設備を見学をした後、黒部川の愛本床止工・堰堤、浦山やすらぎ水路、霞堤などを順に回り、黒部河川事務所職員がそれぞれの役割や仕組みについて説明した。

部員たちは見学を通して土木構造物の重要性を学んだ。

- 実施日時 平成 27年 8月 3日(月) 10時30分～16時30分
- 見学場所 宇奈月ダム(黒部市宇奈月町船見明日音沢宇尾瀬湯谷4の9)
黒部川(愛本床止工・堰堤～浦山やすらぎ水路～福島堤など)
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木部17名(土木科8名、普通科7名、生活環境科2名)
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説明 黒部河川事務所職員(桜井高校OB含む)
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る
黒部川の河川構造物の役割や仕組みを知る



宇奈月ダム



愛本床止工・堰堤



砂防ダムの役割に理解
桜井高校土木部招き見学会
黒部河川事務所職員(桜井高校OB含む)が、宇奈月ダム建設の目的や機能の説明を受け、実際に施設の点検に使う監査廊等のダム設備を見学をした後、黒部川の愛本床止工・堰堤、浦山やすらぎ水路、霞堤などを順に回り、黒部河川事務所職員がそれぞれの役割や仕組みについて説明した。

建設工業新聞(日刊)
平成27年8月5日(水)



霞堤の役割、仕組みを説明する井田所長(桜井高校OB)



ダム天端で記念撮影



宇奈月ダムの構造や機能を学ぶ部員たち



北日本新聞(日刊) 平成27年8月4日(火)

3

桜井高校土木科生徒 土木施設を見る・知る・学ぶ



黒部河川事務所では、富山県立桜井高校土木科生徒を招いて現場見学会を2回開催した。

第1回は、9月28日、土木科2年生が下新川海岸の離岸堤工事の現場を見学し、海岸事業の必要性や離岸堤について認識を深めていた。

生徒たちは、はじめに事務所職員から下新川海岸の特徴、工事を行っている離岸堤、副離岸堤の目的、構造や設計方法の説明を受け、続いて施工業者の現場代理人が工事概要、実際の施工方法について話し、建設業のやりがいや交えながら離岸堤に使用するブロックに触れ、大きさや形状を確認した。

第2回は、10月27日、土木科1年生が土木構造物の知識を深めるため、宇奈月ダムを見学した。生徒たちは、職員からダムの役割や型式、宇奈月ダムの概要や連携排砂などについて説明を受けた後、ダム操作室、堤体内を見て回ったほか、排砂水路では実際に降り立ち、排砂による摩耗対策に関心を示した。はじめての見学会で、土木構造物の重要性、24時間体制の管理がされていることや、堤体内に設置されている各種計測機器などを目の当たりにし、ダム建設の大変さだけでなく、その後の管理の重要性について理解を深めた。

参加した生徒たちからお礼と感謝の言葉があり、見学会を通じて国交省の職場についても関心を示した。

- 実施日時 平成 27年 9月 28日(月) 14時15分～15時30分
- 見学場所 入善町吉原地先
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木科 2年生 40名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 共催 一般社団法人 富山県建設業協会 入善支部
- 説明 黒部河川事務所職員(桜井高校OB含む)
施工業者現場代理人等(桜井高校OB含む)
- 見学目的 離岸堤の目的・構造・設計方法について学ぶ
使用機械、施工手順について知る
離岸堤ブロックの大きさを確認する



離岸堤について説明する村井海岸係長(桜井高校OB)



施工手順を聞き離岸堤に使用するブロックに触れる生徒



ブロックの大きさを体感し、記念撮影



建設工業新聞(日刊)
平成27年9月9日(火)

- 実施日時 平成 27年 10月 27日(火) 14時25分～15時40分
- 見学場所 宇奈月ダム(黒部市宇奈月町船見明日音沢宇尾瀬湯谷4の9)
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木科 1年生 40名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 共催 一般社団法人 富山県建設業協会 入善支部
- 説明 黒部河川事務所職員
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る



ダム天端で貯水位の説明



排砂水路に降りて摩耗対策の説明を受ける生徒



排砂水路で記念撮影



建設工業新聞(日刊)
平成27年10月29日(木)

役割や構造を学ぶ
桜井高校が宇奈月ダム見学
黒部河川事務所

4

石川高専学生が公共事業の役割を学ぶ

黒部河川事務所では、10月7日(水)に石川工業高等専門学校環境都市工学科学生を招いて現場見学会を開催した。

石川工業高等専門学校環境都市工学科3年生41名が宇奈月ダム及び黒部川を訪れ、河川構造物や急流河川対策工法、公共事業の必要性などについて理解を深めた。

宇奈月ダムでは担当者よりダムの概要や構造、関西電力出し平ダムとの連携排砂の説明を受けた後、ダム堤体内に移りゲート操作室、監査廊、排砂ゲート等、普段立ち入ることの出来ない場所を見学した。

黒部川では、愛本床止工・愛本堰堤、環境に配慮したやすぎ水路などの河川構造物、過去に洪水により破堤した福島堤や氾濫流を本川に戻す効果を発揮した霞堤について、現地で説明を受け、急流河川黒部川について知識を深めた。

また、以前は海岸浸食が進んでいた荒俣海岸を見学し、宇奈月ダムの連携排砂等による砂浜回復の拡大効果などについて学んだ。

- 実施日時 平成 27年 10月 7日(水) 11時00分～16時00分
- 見学場所 宇奈月ダム(黒部市宇奈月町船見明日音沢字尾瀬湯谷4の9)
黒部川(愛本床止工・堰堤・浦山やすぎ水路～福島堤)
荒俣海岸
- 対象 石川工業高等専門学校環境都市工学科3年生 41名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説明 黒部河川事務所職員
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る
黒部川の河川構造物の役割や仕組みを知る
海岸で砂浜回復効果を確認する



黒部市愛本地先で愛本床止工・黒部川について説明を受ける学生たち



荒俣海岸で職員より説明を受ける学生たち



宇奈月ダムの構造や機能を学んだあとに記念撮影



建設工業新聞(日刊)
平成27年10月9日(金)

5

富山県立大学で出前講座を開催

黒部河川事務所は、富山県立大学工学部環境工学科2年生を対象とした出前講座を11月6日(金)から始めた。

出前講座は3回にわたり実施するもので、講座では、急流河川黒部川について学んでもらうことと、上流からの土砂流出が多い黒部川の総合的な土砂管理の課題について、ゼミナール形式で取り組んでもらうことにしている。

11月6日(金)1回目は2年生と4年生16人が受講し、藤田事務所長が「黒部川における総合土砂管理の取り組み」について講義を行い、事務所が行っている4事業(砂防・ダム・河川・海岸)の概要について説明を行った。その後、講座を受講する学生11名が3班に分かれ、課題として取り組んでもらう「黒部川の総合土砂管理」の課題内容の確認や取りまとめ方などについて討議を行った。

11月23日(月)2回目は、課題の取りまとめに役立ててもらうため、現地見学を行い、実際に黒部川や宇奈月ダムを見学して、急流河川黒部川の状況や急流河川対策工法、宇奈月ダムの役割構造(排砂水路ほか)などを学んだ。

3回目は、年明けの1月29日(金)に行う予定で、課題について班ごとに発表してもらう。

- 実施日時 平成 27年 11月 6日(金) 14時40分～16時10分
- 場 所 環境工学棟3F 1-333地域協働支援室
- 対象 富山県立大学工学部環境工学科2年生
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説明 黒部河川事務所職員
- 講義内容 課題討議(総合土砂管理)

- 実施日時 平成 27年 11月 23日(月) 10時00分～15時45分
- 見学場所 宇奈月ダム、愛本床止工・愛本堰堤、縦工、巨大水制
浦山やすぎ水路、入善海岸(国家・荒俣地先)
- 対象 富山県立大学工学部環境工学科2年生(11名)
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 説明 黒部河川事務所職員
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ
ダム内部(堤体内)に入ってダムに設置されている設備を知る
黒部川の河川構造物の役割や仕組みを知る
海岸で砂浜回復効果を確認する



講義を行う藤田事務所長



富山新聞(日刊) 平成27年11月8日(日)



課題討議の様子



講義の様子



北日本新聞(日刊) 平成27年11月24日(火)



宇奈月ダム排砂水路にて



愛本床止工の役割について説明
(黒部市下立地先)



海岸構造物について説明
(下新川海岸入善町(国家地先))

6



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害の歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に総合的な学習支援の一環として、僕ら「さぼう」探検隊（立山砂防体験学習会）を開催しています。

今回は、平成27年度において、第1回目を以下のとおり開催しました。

開催日 平成27年7月8日（水）

場所 立山砂防事務所構内

参加者 立山町立新瀬戸小学校・立山町立日中上野小学校

4～6年生:31名 引率者:5名 【計36名】

※今回は、富山県富山土木センター立山土木事務所が行っている「平成27年度こども砂防教室」との共催として開催されました。

トロコ乗車



砂防堰堤の見学



土石流体験装置(3Dシアター)体験



今から体験しまあ～す！

土石流って怖～い！

土砂災害について



行ってきま～す！

土砂災害って何か分かったかな！

土砂災害を模型で学ぶ



最後に児童から「ありがとうございます」とのお礼の言葉を頂きました



富山と砂防の関わりを楽しみながら理解していただくことを目的として、富山県内の高校生を対象に「SABO体験楽校」を開校しました。

「SABO体験楽校」では、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通し、学校の授業では得難い砂防事業を実際に体験しました。

時期：平成27年8月4日（火）～6日（木）【2泊3日】

場所：立山砂防事務所管内

参加者：富山県立桜井高等学校 3名

富山県立富山工業高等学校 5名 計8名

主催：国土交通省立山砂防事務所、一般財団法人 富山・水・文化の財団

開校式



記念撮影



現場体験の打合せ



意見交換会



参加した学生からの感想（感想文から一部抜粋）

■砂防体験楽校に来て本当に良かったです。さまざまな体験をすることによって砂防の大切さや工事の大変さを身をもって学ぶことが出来ました。■作業員の優しい指導のおかげで安全に作業に取り組めることができました。■夕食には事務所や企業の方たちとバーベキューができて、色々な年代の人と話をすることができ、楽しかったです。■今まで以上に砂防について知ることができました。立山カルデラでは富山平野の人々の安全を守るために日々作業が続けられていることによって富山平野の安全が守られていることが分かりました。■立山カルデラには昔から深い歴史やさまざまなことがあった事が分かりました。立山というのはすごいものだと思います。

参加された学生の皆さん大変お疲れ様でした。将来は土木に携わる職業に就いて欲しいと思います。



立山カルデラ砂防博物館

軌道枕木交換の体験



協力会社 富山地鉄建設(株)

無人化施工(遠隔操作)



協力会社 水新建設(株)

コンクリート打設



協力会社 丸新建設(株)

山腹工(アンカーピン設置)



協力会社 新栄建設(株)



修了証書授与



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害の歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に総合的な学習支援の一環として、僕ら「さぼう」探検隊（立山砂防体験学習会）を開催しています。今回は、平成27年度において、第2回目を以下のとおり開催しました。

開催日 平成27年9月4日（金）

場 所 立山砂防事務所構内

参加者 富山市立音川小学校・富山市立桧尾小学校

4～6年生：62名 引率者：20名 【計82名】

※今回は、富山法人会青年部会が行う「租税教育バス」の一環として開催されました。

土石流模型実験で砂防堰堤の役割を学ぶ！！



富山市立音川小学校

土石流って
すごーい！



おれの言葉



富山市立桧尾小学校

砂防堰堤って
すごーい！

立山カルデラ砂防博物館の見学

大型3Dシアターで土石流の怖さを学ぶ



立山の自然を学ぶ

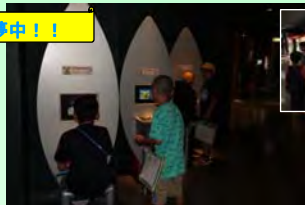


砂防堰堤の
役割が分かっ
たかな！

工事専用軌道
(トロック)につ
いて学ぶ！



クイズに夢中！！



おれの言葉

平成27年7月10日(金)に富山県立大学の1年生が、富山港2号岸壁改良事業のケーソン製作現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、港湾工事の現場に触れて、建設界の魅力や港湾の役割について知ってもらうためのものです。

現場ではフローティングドッグ上からの工事内容の説明の後、実際に作業現場に入ってもらい、メタルフォームの仕組み実演の他、現場技能員から鉄筋結束の実演指導を受け、学生一人一人が鉄筋結束作業の実技を行いました。

この見学会を通じて建設界や港湾について、より感心を持って頂ければ嬉しく思います。



室内で概要説明と質疑応答



フローティングドッグへの乗船



フローティングドッグ上での概要説明



ケーソン製作の足場にとって間近で視察



メタルフォームの仕組み実演



鉄筋結束作業の実演と実習

平成27年9月8日(火)に富山県立富山工業高校1年生40名が、富山港2号岸壁改良事業のケーソン製作現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、港湾工事の現場に触れて、建設界の魅力や港湾の役割について知ってもらうためのものです。

最初に室内で工事概要の説明と質疑応答により、業界でも珍しい港湾工事の内容を理解してもらった後、実際の作業現場であるフローティングドッグに乗船してもらい、間近でケーソン製作現場の視察を行いました。

この見学会を通じて建設界や港湾について、より感心を持って頂ければ嬉しく思います。



室内での概要説明と質疑応答



ケーソン製作を間近で視察



フローティングドッグ上での視察



全員揃って記念撮影

地元 南砺福野高校の学生38名が 利賀ダムの工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手
確保・育成推進協議会
利賀ダム資料①

平成27年7月10日(金)に富山県立南砺福野高校の農業環境科の1年生30名、2年生8名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、橋梁工事等の現場に触れて、建設界の魅力や利賀ダムの役割について知ってもらうものです。

各現場での説明の他、座学で橋やダムの形式や一般的な施工手順、庄川における利賀ダムの役割などを学んでいただきました。また、同校のOB(利賀ダム工事事務所職員)やOG(受注業者の技術者)による建設界の仕事紹介では、先輩達の活躍について熱心に聞いてもらいました。

この現場見学会を通して建設界や利賀ダムについて、より関心を持っていただけたらうれしく思います。



豆谷橋梁上部工事の見学

快晴の中、心地よい風が吹いていました。



同校OGによる建設界の仕事紹介



昼食前に座学を実施

みんなとても真剣に話を聞いてくれました。



集合写真を撮影(利賀湖面橋にて)

今回の参加者は1年生30名(女子が19名、男子11名)、2年生(男子8名)、引率の先生2名
2年生より興味・関心、進路希望により野菜類型、草花類型、造園土木類型に分かれて学習するそうです。



見学当日の施工状況
(豆谷橋梁上部工事)



見学当日の施工状況
(庄川橋梁上部工事)

1

石川工業高等専門学校の学生41名が 利賀ダムの工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手
確保・育成推進協議会
利賀ダム資料②

平成27年10月8日(木)に石川工業高等専門学校の環境都市工学科 3年生41名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、橋梁工事等の現場に触れて、建設界の魅力や利賀ダムの役割について知ってもらうものです。

各現場(ダムサイト付近、上部工の架設が進む庄川橋梁、豆谷橋梁など)での説明の他、座学で庄川における利賀ダムの役割やダムができるまでの流れ、橋梁の架設工法などを説明しました。また、今後の就職活動の参考として同校のOB職員と女性職員より北陸地方整備局の業務内容や職務環境について説明を行いました。

学生の皆さんは、現場のスケールに熱心ながら真剣な面持ちで職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

この現場見学会を通して建設界や利賀ダムについて、より関心を持っていただけたらうれしく思います。



座学の様子

OBです!



工事現場(豆谷橋梁)



集合写真を撮影(利賀湖面橋にて)

2

金沢工業大学の学生77名が 利賀ダムの工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手
確保・育成推進協議会
利賀ダム資料③

平成27年10月19日(月)に金沢工業大学の環境土木工学科1年生77名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、学生が普段の講義では学べないプロジェクトの現場を間近で体感し、自分達が目指す土木技術者の仕事を理解し、自身の将来像をイメージする機会を提供するものです。

学生の皆さんは、ダムの目的や鋼橋の架設工法等について事前に与えた課題を各自で調べたうえで参加しました。

当日は、利賀ダム建設事業の概要や課題に関する説明会を金沢工業大学で行った後に、ダムサイト付近、上部工の架設が進む庄川橋梁、豆谷橋梁を見学しました。

学生の皆さんは、現場のスケールを肌で感じながら真剣な面持ちで職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

この現場見学会を通して土木技術者の仕事の魅力を感じてもらい、また、利賀ダムの役割について関心を持っていただけたらうれしく思います。



説明会の様子



ダムサイト右岸展望箇所



工事現場(豆谷橋梁)

記念撮影(B班)学生37名と先生1名



工事現場(豆谷橋梁)



工事現場(庄川橋梁)



工事現場(豆谷橋梁)

記念撮影(A班)学生40名と先生1名

3

石川工業高等専門学校の学生41名が利賀ダムの工事現場を見学しました。 ～昨年度見学した学生が工事の進捗状況を確認～

北陸建設界の担い手
確保・育成推進協議会
利賀ダム資料④

平成27年11月25日(水)に石川工業高等専門学校の環境都市工学科4年生41名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

参加した学生の皆さんは、昨年度も現場見学に来られており、各工事の進捗状況が気になっている様子です。

今回見学した現場は、庄川橋梁・豆谷橋梁・下島大橋の3箇所で、同校のOB職員が利賀ダム建設事業における生活再建道路の必要性や橋梁の架設工法などを説明しました。

昨年度は上部工の工事中で仮設エレベーターに乗って見学した下島大橋では、舗装や高欄まで仕上がった出来映えを見て学生の皆さんから歓声がわいていました。また、上部工の架設が進む庄川橋梁と豆谷橋梁では、来春から予定しているアーチ架設も見に来たいといった声もありました。ぜひ見学にお越しいただき、今後の就職活動の参考にしていただきたいと思います。



庄川橋梁の左岸展望台にて



現場状況
(庄川橋梁)

ケーブルク
レーンが設置
されました



豆谷橋梁の現場にて



現場状況(豆谷橋梁)

桁の送り出しが終わりました



記念撮影(下島大橋にて)
H27.11.25



現場状況(下島大橋)



昨年度の見学(下島大橋にて) 4
H26.11.5

北陸管内の9校11学部の建設系大学、高専に訪問して、建設コンサルタントの認知度向上を目的としたPR活動を毎年度行っています。

平成27年度は、建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を9校合計で750部配布しました。また、要望のあった5校を対象に、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について、パワーポイントやビデオを用いた説明会を開催(1校は日程調整中)しています。

説明会開催校で実施したアンケート調査では、「説明会により建設コンサルタントの業務をより深く理解することができた」との評価をいただいております、今後も継続的に説明会を開催していくこととしています。

■建コンPR冊子



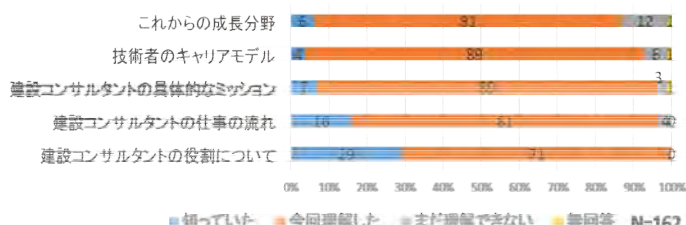
表.建設系大学等へのPR活動状況

写真1.長岡技術科学大学説明会

写真2.金沢大学説明会

学校名	学部・学科	PR冊子配布	説明会
新潟大学	工学部 建設学科	5月21日 50部	-
	農学部 農業環境	5月26日 50部	-
	理学部 地質科学科	5月15日 50部	-
	キャリアセンター	50部	-
長岡技術科学大学	環境・建設系	5月14日 100部	7月28日
新潟工科大学	建築学科	5月13日 30部	-
長岡高等専門学校	環境都市工学科	10月19日 50部	12月7日
富山県立大学	工学部環境工学科	5月13日 60部	11月26日
金沢大学	理工学域	2月18日 or 19日調整中	7月21日
	環境デザイン学類		2月18日 or 19日
金沢工業大学	環境土木工学科	5月14日 60部	-
石川県立大学	生物資源環境学部	5月14日 100部	-
石川高等専門学校	環境都市工学科	5月14日 50部	6月22日

図.説明会開催校における建設コンサルタント業務の理解度



未来の担い手へ確保のための取り組み

～「建コン協北陸支部技術・研究発表会」への大学生からの参画～

建設コンサルタンツ協会北陸支部業務・研究発表会は一昨年、建設コンサルタンツ協会50周年記念事業の一環として開催されました。その後、建設コンサルタンツ協会北陸支部会員の業務における優れた成果や研究開発成果の発表を通じて、お互いの技術の研鑽を図ることを目的として継続的に開催することとなり、実施したものです。

本発表会は、新潟市を会場としたことから長岡技術科学大学、新潟大学を対象に学生講演を依頼しました。

両大学から学生を推薦していただき、業務・研究発表会で発表していただきました。

8月7日の当日は、支部会員、大学生並びに行政機関の方々も含め、110名のご出席を頂きました。

今後も、官学産連携して開催し、自己研鑽は勿論、未来の担い手を確保する観点からも関連大学への情報発信を引き続き行っていきたいと考えております。

テーマ	発表者
ビックデータを活用した新たな道路交通指標の検討	エヌシーイー株式会社 総合計画部 ○池田 薫・山村裕章・川端光昭
道路除雪のあり方に関する一考察	開発技建株式会社 調査計画部 ○飯田雅之・佐藤吉一・佐藤勝昭
事故対策(右折分離ゼブラ等)による効果評価方法の検討	開発技建株式会社 交通計画部 調査課 長谷川 克・原 弘行・○矢吹 祐輔・坂庭 宏樹
ASR劣化により構造的破断が確認されたPCT桁の耐荷性評価	株式会社国土開発センター 設計事業部設計1部 ○亀田浩昭・浦 修造・笹谷謙彦
小流量・低落差を克服した用水路対応型水車の開発と収益性の高いビジネスモデルの構築	株式会社新日本コンサルタント 市森友明・阿曾克司・○古野昌吾
北陸新幹線開業(分岐駅)に合わせた公共交通整備検討	株式会社新日本コンサルタント 設計計画部都市デザイン部都市計画グループ ○大門健一・道木 健
3次元形状情報を活用したCIM活用試行支援業務	大日本コンサルタント株式会社 ICT 統括センター、技術統括部 櫻井和弘・和泉 繁・○神原由紀
手取川右岸集落における広域斜面危険度判定マップの適用性について	株式会社日本海コンサルタント 技術事業本部 防災橋道部 ○東 寛和・西野尚志・荒木龍介・橋本隆司・小間井孝吉・川村圓夫



演題: 長期暴露したコンクリートにおけるセメント水和物の化学分析と炭酸化機構に関する検討
発表者: 新潟大学 工学部 建設学科 高市大輔 くん



演題: 道の駅を活用した地域活性化の取り組み事例
発表者: 長岡技術科学大学 都市交通研究室 谷澤明日菜さん

未来の担い手へ確保のための取り組み

～「全国の建コン協若手技術者」と大学生とのワールドカフェ開催～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
参考資料③

『業界展望を考える若手技術者の会』(以下、若手会)は、全国の若手技術者が一同に会し、業界の諸問題や将来像、改善行動について議論を交わす場として、建設コンサルタンツ協会総務委員会により設置されました。本会は、月1回の頻度で開催されていますが、この度、北陸で開催することになったため、北陸支部若手技術者ワーキンググループから若手会に参加しているメンバーが主体となって企画・運営しました。

『業界展望を考える若手技術者の会in北陸』は、平成27年8月28日(金)～29日(土)の2日間において、石川県金沢市のITビジネスプラザ武蔵、石川四高記念文化交流館で開催しました。内容は、下記のとおり3部構成とし、1部及び3部は、若手会のメンバーでのグループ討議、2部は、地元若手技術者や大学生を交えた意見交換会としました。

■1部 グループ討議

- ①近畿支部の活動報告
- ②建コン将来ビジョンに関するグループワーク
- ③グループ発表
- ④全体討議

■2部 建コン ワールドカフェ in KANAZAWA

～みんなの「しごと観」と建コンの未来～

(1) 話題提供

- ①北陸地方整備局による技術者育成支援の取組
北陸地方整備局企画課 杉本 敦 氏
- ②業界展望を考える若手技術者の会について
㈱オリエンタルコンサルタンツ 伊藤 昌明
- ③建コン北陸支部での技術者育成支援の取組
開発技建㈱ 竹内 聡
- ④建コン企業が実施する公民連携事例の紹介
㈱日本海コンサルタント 片岸 将広

(2) ワールドカフェによる意見交換

- ①ワールドカフェの概要説明(片岸)
- ②テーマ1に関する対話「今の仕事や働き方をどのように感じていますか？」
- ③テーマ2に関する対話「みんなに羨ましいと思われる建コンの姿とは？」
- ④印象に残ったことの書き出しと全体共有

■3部 総括グループ討議



地域を守る事業を未来の担い手へPR

～「小学校出前講座」のご案内～

(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
参考資料④

平成16年より、北陸支部管内の小中学校を対象に出前講座を実施しております。

これは、社会資本整備の必要性について理解を深めるとともに、子供たちの将来の職業選択の一つとして、建設コンサルタント業の認知度を高める事を目的として行っております。

各年度の初めに、「出前講座」のチラシを作成し、関係機関へお知らせを行っており、教育委員会或いは学校からの依頼に基づいて実施しています。

(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部

“小学校出前講座”のご案内

建設コンサルタンツ協会は、社会貢献活動の一環として小学生のための出前講座を行っています。これは、社会資本整備の必要性について理解を深めるとともに、子どもたちの将来の職業選択の一つとして、建設コンサルタント業の認知度を高める事を目的としています。講座につきましては、学校の単位と連携した内容を企画致しますので、是非ご利用下さいませよう、お願いいたします。



- 対象者■
小学生 4～6年生(学級単位・学年単位とも対応可)
- 講座時期■
平成27年7月～平成27年12月
- 講師■
建設コンサルタンツ協会北陸支部 会員(※※※)
- 費用■
全て協会で対応可(講師料・教材等)
- 問い合わせ先■
(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部事務局
〒950-0006 石川県金沢市東区南町1-1-1 金沢ビル2F
TEL 011-233-2371 FAX 011-233-2372

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

小・中学生のための出前講座公表表

開催日	開催場所	講演テーマ
第1回 (H16.10.13)	新築 (新潟県立大野中学校)	「建築は人をつなぐ仕事です」
第2回 (H17.11.3)	①新築 (金沢市立森本中学校) ②新築 (金沢市立大野中学校)	「金沢の歴史と建築」
第3回 (H19.2.22)	新築 (南砺市立加賀中学校)	「建設コンサルタントって何してるの？」
第4回 (H19.6.13)	新築 (新潟県立上小中学校)	「まちづくり (まちづくりデザイン)」
第5回 (H19.10.2)	新築 (新潟県立上小中学校)	「にいがたの都市文化」
第6回 (H19.11.8)	新築 (金沢市立南中学校)	「金沢の土木建築の発展」
第7回 (H20.4.8)	新築 (新潟県立上小中学校)	「これからのまちづくりに求められる建築」
第8回 (H20.10.1)	新築 (新潟県立上小中学校)	「交通・防災・環境」
第9回 (H22.1.15)	金沢 (金沢市立南中学校)	「金沢のまちのなりたち」
第10回 (H23.11.15)	新築 (新潟県立大野中学校)	「金沢のまちのなりたち」
第11回 (H24.11.26)	新築 (新潟県立大野中学校)	「金沢のまちのなりたち」
第12回 (H24.12.11)	新築 (新潟県立大野中学校)	「金沢のまちのなりたち」
第13回 (H25.2.24)	新築 (新潟県立大野中学校)	「金沢のまちのなりたち」
第14回 (H25.3.15)	新築 (新潟県立大野中学校)	「金沢のまちのなりたち」

問い合わせ先

(一社)建設コンサルタンツ協会

北陸支部事務局

〒950-0006 石川県金沢市東区南町1-1-1 金沢ビル2F

TEL 011-233-2371 FAX 011-233-2372

事務局員 松田 利典 山崎 昌典

山崎 昌典 090-2527-8936



新潟市立大形小学校「環境」等について授業風景



平成26年度において、建設コンサルタント業務を紹介する動画として「教えて!ケンコンさん～建設コンサルタントの仕事と魅力～」を製作し、YouTubeへのアップ、支部HPへのアップ、支部の名刺にQRコードの表記など、効果的にPR活動を行った。

平成27年度においても、建コンPR動画第2弾として、「教えて!ケンコンさん!～まちの施設を調べよう～」と題して、地元のアイドルを活用し、次のことをコンセプトとして、現在作成中です。

①観光Map感覚で見ることができること。②地元アイドルの知名度を活用して多くの閲覧が期待できること。

完成後は、昨年同様に様々なイベントでの放映はもちろん、国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県及び石川県から後援を頂き、北陸支部管内の高等学校224校へ動画のチラシ等を配布し、建設コンサルタントの仕事と魅力を紹介する予定としています。これからも建設界の担い手確保のため、積極的に取り組んでいきます。



【建コン PR 動画を活用した広報活動】

- 建コン PR 動画を「YouTube」で公開
- 建コン PR 動画は、各支部、各会員会社でも使用可能。また、独自版に改良も可能。
- 上記建コン PR 動画のチラシを北陸支部管内の224校の高等学校に配布し、学生にPRした。

教えて!ケンコンさん
～建設コンサルタントの仕事と魅力～



【名刺を活用した広報活動】

- 名刺上のQRコードからスマホでの読み取りによりYouTubeの動画サイトへリンク



建設業における中長期的な担い手の育成・確保①

若手・女性

○将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

⇒除雪作業に必要な免許取得に要する費用や、トイレの改装やシャワー設備の改修などの労働環境善に要する費用を助成【H27.当初】

⇒資格取得支援講座（建築施工管理技術、土木施工管理技術検定）、新入社員向け研修、就職直前技能向上研修等、建設人材教育訓練を実施【H27.9月補正】



ロカルちゃ! 富山
土木構造物編

○建設企業が雇用できる環境づくり(公共事業や建設業のイメージアップ)

⇒観光情報誌「ロカルちゃ! 富山」による広報【H26.5月発行】

(土木構造物を観光資源とし、ユニークな切り口でその魅力等を紹介)

⇒土木部Facebook「いいね! とやまの土木」の開設【H26.11.13開設】

(事業内容やイベント等の情報を広く発信し、土木部の業務並びに土木施設の役割や機能についての理解を深めてもらう)

平成27年度の取組み

⇒「親子ふれあい見学会」等の開催

(現場見学会に加えて橋の模型製作を体験し、橋づくり技術の理解や面白さを通じて土木への関心を深めてもらう)



将来の担い手である子ども達や、進路に大きな影響力を与える保護者(特に母親)を視野に入れて実施

⇒建設業協会と連携した取り組み

○女性による建設業魅力発掘・PR事業



女性の視点で発掘した建設業の重要性や魅力をパンフレットで紹介

【平成28年2月26日刊行】

○学校向けにパンフレットを作成・配布



小学生向け



中・高校生向け

小学5年生、中学2年生、高校2年生の全員に配布

建設業における中長期的な担い手の育成・確保② (平成27年9月補正予算)

定着

対象者

建設企業在職者

入社1年未満の社員

建設企業に就職内定した高校生、大学生等

就職活動者
(大学生等)土木系学科の高校2年生
進路選択に影響力のあ
る父母、教員等

入職

将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

(1) 資格取得支援講座

●土木施工管理技術検定、建築施工管理技術検定試験の対策講座を内容とする短期集中型講座を実施 (各定員40名)

⇒建築: 平成28年2月9日~10日、土木: 平成28年3月15日~16日開催

(2) 新入社員向け研修

●定着率向上や企業間交流促進のための研修を実施

⇒平成27年度は、10月以降の半年間で2回開催

(3) 就職直前技能向上研修

●卒業後の春休み期間を利用し、玉掛け技能講習及び小型移動式クレーン講習の短期間技能講習を実施

(4) 就職PR事業

① 合同就職説明会

●合同説明会(ヤングジョブとやま主催、マイナビ主催)において、建設業の専門窓口を設け、特大パネルの掲示、パンフレットの配布、相談等を実施

⇒ブースの空き状況に合わせ、それぞれ1回開催予定

② 体験発表会

●当該校出身で建設業界で活躍するOBを講師とし、建設業で働くやりがい、魅力等について、自身の体験をもとに伝える

⇒平成27年10月に2校で開催

10月29日開催
〔富山工業高校〕



建設業における中長期的な担い手の育成・確保③ (建設業のイメージアップ①)

県政バス教室の開催

富山どぼく発見！ツアー ～関係者以外立入禁止の現場探検！

防災啓発施設や建設現場の見学を通じて、子ども達に土木に関する理解を深めてもらうもの

- 1 開催日 平成27年8月1日(土)
- 2 コース ①四季防災館
②富山駅付近連続立体交差事業
③松川貯留管建設工
- 3 参加者 19名(大人8名、子ども11名)

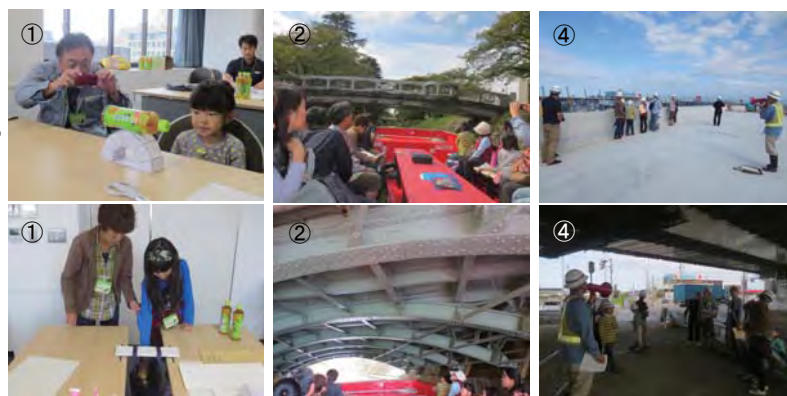


親子ふれあい見学会の開催

橋をツクル×ミル×マナブ ～世紀の難工事？ ペーパーブリッジを架けろ！～

土木の花形である「橋」にテーマを絞って、模型体験や現場見学を行い、土木の魅力を知ってもらうとともに、イメージアップを図るもの。

- 1 開催日 平成27年10月4日(日)
- 2 コース ①ペーパーブリッジ教室
②松川橋めぐり
③新湊大橋(車中)
④国道8号坂東立体交差事業
- 3 参加者 10名(大人5名、子ども5名)



建設業における中長期的な担い手の育成・確保④ (建設業のイメージアップ②)

建設業協会と連携した取り組み「女性による建設業魅力発掘・PR事業」

一般女性の視点から建設業の魅力をPR！ パンフレット「TSUKURU」の刊行

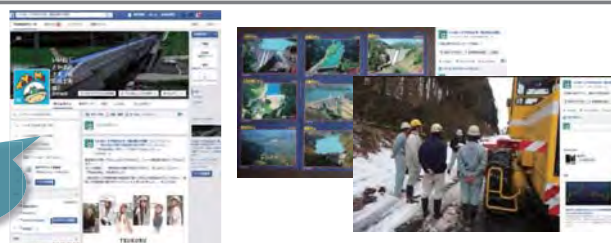
- 1 主な内容 一般女性3人に現場体験や建設業で働く女性との座談会を行ってもらい、女性目線から発見した建設業の魅力をパンフレットにまとめたもの(B5版フルカラー 16ページ)
- 2 配付先 県内の高校、高専、県立大学の進路決定前の学生に配付
- 3 作成部数 県4,000部、協会10,000部
- 4 その他 県、協会のホームページにPDF版を掲載



土木部Facebook“いいね！とやまの土木” 「いいね！500件突破！」

事業内容やイベント等の情報を広く発信し、土木部の業務並びに土木施設の役割や機能についての理解を深めてもらう

いいね！
500件突破！



平成27年度 建設界の担い手確保・育
成に関する取り組みについて

参考資料

【石川県部会】

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

北陸管内の9校11学部の建設系大学、高専に訪問して、建設コンサルタントの認知度向上を目的としたPR活動を毎年度行っています。

平成27年度は、建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を9校合計で750部配布しました。また、要望のあった5校を対象に、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について、パワーポイントやビデオを用いた説明会を開催(1校は日程調整中)しています。

説明会開催校で実施したアンケート調査では、「説明会により建設コンサルタントの業務をより深く理解することができた」との評価をいただいております、今後も継続的に説明会を開催していくこととしています。

■建コンPR冊子



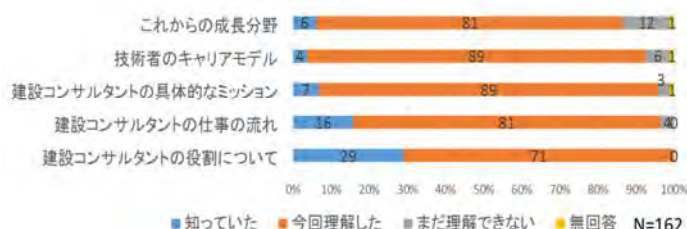
表.建設系大学等へのPR活動状況

写真1.長岡技術科学大学説明会

写真2.金沢大学説明会

学校名	学部・学科	PR冊子配布	説明会
新潟大学	工学部 建設学科	5月21日 50部	-
	農学部 農業環境	5月26日 50部	-
	理学部 地質科学科	5月15日 50部	-
	キャリアセンター	50部	-
長岡技術科学大学	環境・建設系	5月14日 100部	7月28日
新潟工科大学	建築学科	5月13日 30部	-
長岡高等専門学校	環境都市工学科	10月19日 50部	12月7日
富山県立大学	工学部環境工学科	5月13日 60部	11月26日
金沢大学	理工学域	2月18日 or 19日調整中	7月21日
	環境デザイン学類		2月18日 or 19日
金沢工業大学	環境土木工学科	5月14日 60部	-
石川県立大学	生物資源環境学部	5月14日 100部	-
石川高等専門学校	環境都市工学科	5月14日 50部	6月22日

図.説明会開催校における建設コンサルタント業務の理解度



未来の担い手へ確保のための取り組み

～「建コン協北陸支部技術・研究発表会」への大学生からの参画～

建設コンサルタンツ協会北陸支部業務・研究発表会は一昨年、建設コンサルタンツ協会50周年記念事業の一環として開催されました。その後、建設コンサルタンツ協会北陸支部会員の業務における優れた成果や研究開発成果の発表を通じて、お互いの技術の研鑽を図ることを目的として継続的に開催することとなり、実施したものです。

本発表会は、新潟市を会場としたことから長岡技術科学大学、新潟大学を対象に学生講演を依頼しました。

両大学から学生を推薦していただき、業務・研究発表会で発表していただきました。

8月7日の当日は、支部会員、大学生並びに行政機関の方々も含め、110名のご出席を頂きました。

今後も、官学産連携して開催し、自己研鑽は勿論、未来の担い手を確保する観点からも関連大学への情報発信を引き続き行っていきたいと考えております。

テーマ	発表者
ビックデータを活用した新たな道路交通指標の検討	エヌシーイー株式会社 総合計画部 ○池田 薫・山村裕章・川端光昭
道路除雪のあり方に関する一考察	開発技建株式会社 調査計画部 ○飯田雅之・佐藤吉一・佐藤勝昭
事故対策(右折分離ゼブラ等)による効果評価方法の検討	開発技建株式会社 交通計画部 調査課 長谷川 克・原 弘行・○矢吹 祐輔・坂庭 宏樹
ASR劣化により構造的破断が確認されたPCT桁の耐荷性評価	株式会社国土開発センター 設計事業部設計1部 ○亀田浩昭・浦 修造・笹谷輝彦
小流量・低落差を克服した用水路対応型水車の開発と収益性の高いビジネスモデルの構築	株式会社新日本コンサルタント 市森友明・阿曾克司・○古野昌吾
北陸新幹線開業(分岐駅)に合わせた公共交通整備検討	株式会社新日本コンサルタント 設計計画部都市デザイン部都市計画グループ ○大門健一・道水 健
3次元形状情報を活用したCIM活用試行支援業務	大日本コンサルタント株式会社 ICT 統括センター、技術統括部 櫻井和弘・和泉 繁・○神原由紀
手取川右岸集落における広域斜面危険度判定マップの適用性について	株式会社日本海コンサルタント 技術事業本部 防災構造物部 ○東 寛和・西野尚志・荒木龍介・橋本隆司・小間井孝吉・川村圓夫



演題: 長期暴露したコンクリートにおけるセメント水和物の化学分析と炭酸化機構に関する検討
発表者: 新潟大学 工学部 建設学科 高市大輔 くん



演題: 道の駅を活用した地域活性化の取り組み事例
発表者: 長岡技術科学大学 都市交通研究室 谷澤明日菜さん

『業界展望を考える若手技術者の会』(以下、若手会)は、全国の若手技術者が一同に会し、業界の諸問題や将来像、改善行動について議論を交わす場として、建設コンサルタンツ協会総務委員会により設置されました。本会は、月1回の頻度で開催されていますが、この度、北陸で開催することになったため、北陸支部若手技術者ワーキンググループから若手会に参加しているメンバーが主体となって企画・運営しました。

『業界展望を考える若手技術者の会in北陸』は、平成27年8月28日(金)～29日(土)の2日間において、石川県金沢市のITビジネスプラザ武蔵、石川四高記念文化交流館で開催しました。内容は、下記のとおり3部構成とし、1部及び3部は、若手会のメンバーでのグループ討議、2部は、地元若手技術者や大学生を交えた意見交換会としました。

■1部 グループ討議

- ①近畿支部の活動報告
- ②建コン将来ビジョンに関するグループワーク
- ③グループ発表
- ④全体討議

■2部 建コン ワールドカフェ in KANAZAWA

～みんなの「しごと観」と建コンの未来～

(1) 話題提供

- ①北陸地方整備局による技術者育成支援の取組
北陸地方整備局企画課 杉本 敦 氏
- ②業界展望を考える若手技術者の会について
㈱オリエンタルコンサルタンツ 伊藤 昌明
- ③建コン北陸支部での技術者育成支援の取組
開発技建㈱ 竹内 聡
- ④建コン企業が実施する公民連携事例の紹介
㈱日本海コンサルタント 片岸 将広

(2) ワールドカフェによる意見交換

- ①ワールドカフェの概要説明(片岸)
- ②テーマ1に関する対話「今の仕事や働き方をどのように感じていますか？」
- ③テーマ2に関する対話「みんなに羨ましいと思われる建コンの姿とは？」
- ④印象に残ったことの書き出しと全体共有

■3部 総括グループ討議



平成16年より、北陸支部管内の小中学校を対象に出前講座を実施しております。

これは、社会資本整備の必要性について理解を深めるとともに、子供たちの将来の職業選択の一つとして、建設コンサルタント業の認知度を高める事を目的として行っております。

各年度の初めに、「出前講座」のチラシを作成し、関係機関へお知らせを行っており、教育委員会或いは学校からの依頼に基づいて実施しています。

(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部

“小学校出前講座”のご案内

建設コンサルタンツ協会は、社会貢献活動の一環として小学生のための出前講座を行っています。これは、社会資本整備の必要性について理解を深めるとともに、子どもたちの将来の職業選択の一つとして、建設コンサルタント業の認知度を高める事を目的としています。講座につきましては、学校の単位と連携した内容を企画いたしますので、是非ご利用下さいませよう、お願いいたします。



- 対象者■
小学生 4～6年生(学年単位・学年単位とも対応可)
- 講座時期■
平成27年7月～平成27年12月
- 講師■
建設コンサルタンツ協会北陸支部 会員(専門技術者)
- 費用■
全て協会が対応(講師料・教材等)
- お問い合わせ先■
(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部事務局
〒920-0066 新潟市中区東新井町1-1 東新井ビル
TEL 025-222-3333 FAX 025-222-3333
Eメール 025-222-3333
〒920-0066 新潟市中区東新井町1-1 東新井ビル
TEL 025-222-3333 FAX 025-222-3333
Eメール 025-222-3333

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

山・和生小の児童のための出前講座実施表

開催日	開催地	講演テーマ
第1回 (2015.10.13)	新潟 (新潟市立大野小学校)	「地球は人々の手で守られている」
第2回 (2015.11.5)	新潟 (金沢市立森山小学校)	「金沢の歴史と未来」
第3回 (2015.11.22)	新潟 (新潟市立城山小学校)	「建設コンサルタンツの仕事」
第4回 (2015.12.1)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」
第5回 (2015.12.5)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「21世紀の都市交通」
第6回 (2015.12.8)	新潟 (金沢市立森山小学校)	「金沢の歴史と未来」
第7回 (2015.12.9)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「21世紀の都市交通」
第8回 (2015.12.11)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」
第9回 (2015.12.12)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」
第10回 (2015.12.15)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」
第11回 (2015.12.15)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」
第12回 (2015.12.15)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」
第13回 (2015.12.15)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」
第14回 (2015.12.15)	新潟 (新潟市立上山小学校)	「まちづくりと環境」

問い合わせ先
(一社)建設コンサルタンツ協会
北陸支部事務局
〒920-0066 新潟市中区東新井町1-1 東新井ビル
TEL 025-222-3333 FAX 025-222-3333
Eメール 025-222-3333
事務局員 松浦 利典
広報部長 松浦 利典
広報部長 松浦 利典



新潟市立大形小学校「環境」等について授業風景



平成26年度において、建設コンサルタント業務を紹介する動画として「教えて!ケンコンさん～建設コンサルタントの仕事と魅力～」を製作し、YouTubeへのアップ、支部HPへのアップ、支部の名刺にQRコードの表記など、効果的にPR活動を行った。

平成27年度においても、建コンPR動画第2弾として、「教えて!ケンコンさん!～まちの施設を調べよう～」と題して、地元のアイドルを活用し、次のことをコンセプトとして、現在作成中です。

①観光Map感覚で見ることができること。②地元アイドルの知名度を活用して多くの閲覧が期待できること。

完成後は、昨年同様に様々なイベントでの放映はもちろん、国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県及び石川県から後援を頂き、北陸支部管内の高等学校224校へ動画のチラシ等を配布し、建設コンサルタントの仕事と魅力を紹介する予定としています。これからも建設界の担い手確保のため、積極的に取り組んでいきます。



【建コンPR動画を活用した広報活動】

- 建コンPR動画を「YouTube」で公開
- 建コンPR動画は、各支部、各会員会社でも使用可能。また、独自版に改良も可能。
- 上記建コンPR動画のチラシを北陸支部管内の224校の高等学校に配布し、学生にPRした。

教えて!ケンコンさん
～建設コンサルタントの仕事と魅力～



【名刺を活用した広報活動】

- 名刺上のQRコードからスマホでの読み取りによりYouTubeの動画サイトにリンク



金沢大学の学生が、北陸電力㈱ 富山新港火力発電所LNG1号機
建設工事の工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手
確保・育成推進協議会

平成27年9月29日、(一社)日本建設業連合会北陸支部は、金沢大学理工学域環境デザイン学類(旧土木建設工学科)の学生を対象とし、北陸電力㈱ 富山新港火力発電所LNG1号機建設工事現場見学会を開催した。

今回の見学会は、日建連による「担い手の確保・育成」活動の一環として、建設業の魅力、やりがいの発信、正しいイメージの定着を目的に開催した。

当日は、大学1年生から、大学院2年生までの計23人が北陸電力㈱建設所次長、明石秀司氏に事業の概要説明を受けたのち、土木建築5JVの現場を見学した。建設現場は技術、工法の見本市のようであり、工事担当者より説明を受け、目の前でスケールの大きさ、緻密な施工監理、安全管理の一端を垣間見、学生たちは興味深く見学、質問をしていた。女性の学生も7人参加し、建設業界における女性の活躍の可能性も感じ取ってくれたようであった。



全体工事概要説明状況



基礎工事見学状況



場内見学状況



仮設工事状況を見学



岸壁地場内を見学



山留工保工の説明を受ける学生

工業高等学校生徒の現場見学会

(一社)石川県建設業協会

6月22日 石川県立羽咋工業高等学校 建築コース3年 18名



戸板会館 羽咋工業

●現場見学会の感想

- ・とても就職に役に立ったと思う。
- ・建設業界の若手不足を知りました。
- ・一番心に残っているのはやりがいという言葉です。
- ・僕も地図に残る仕事を目標としたい。
- ・授業で体験できないことを学び工事現場は面白いと思いました。

(一社)石川県建設業協会

高校生との意見交換会(工業系・普通科)

8月28日 石川県立七尾東雲高等学校 総合経営学科農業コース 2年 43名



七尾東雲高校

●意見交換会での質問

- ・女性の求人が少ないのではないかな？
- ・大卒と高卒で仕事の内容が異なるのかな？
- ・高卒の初任給の金額、昇給のペース、各種手当の有無は？
- ・体力が必要かな？
- ・現場での事故や怪我が心配？

平成 27 年度
実施状況写真



H27.6.5測量の日記念事業①



H27.6.5測量の日記念事業②



H27.11.10第36回石川県高等学校測量技術コンテスト③



H27.11.10第36回石川県高等学校測量技術コンテスト④



H27.11.21土曜事業推進事業⑤

H27金沢工大環境土木工学科3年生授業 「進路セミナーⅠ」:建設界から各講師の講義



国土交通省



金沢市役所



建設コンサルタント



地質調査業

1. 学校訪問(5・6月)

- ・建設業に一定の就職実績がある普通高校15校を訪問し、学校側の声を集約
→(学校側の声)
ここ最近生徒の目は進学より就職に向いている
建設業を知る機会(現場見学会・企業説明会等)を増やしてほしい

2. 企業ガイダンス(7月)

- ・高3生対象のガイダンスにおいて企業のアピールの場を確保
- ・参加企業全115社中24社が建設業者(うち協会会員企業10社)
- ・H28.3卒業予定の高校生1,676名(就職希望者の約7割が参加)

3. 普通科等高校生の現場見学会(8月)

- ・県内の普通科等高校生6校19名が参加
- ・見学先:ニツ寺橋、神谷内トンネル、金沢城公園、辰巳ダム
→(参加した生徒の声)
建設業のことはよく知らなかったので、貴重な体験になった
企業で働く先輩の意見を聞くことができ、とても興味を持てた

4. 合同企業セミナー・けんせつ小町座談会(10月)

- ・建設業に特化した合同企業セミナーや女性の雇用促進や職場環境の改善に向けた基調講演やパネルディスカッションを実施



5. 子供向け土木イベント(10月)

- ・「はだしの王国」において土木イベント「目指せ!土木エンジニア」を開催
- ・児童とその保護者336名が参加
- ・実施内容:測量体験、土木クイズ、重機試乗体験等



6. 親子現場見学会(11月)

- ・小学生とその保護者12組25名が参加
- ・見学先:辰巳ダム、神谷内トンネル



平成27年12月21日(月)、「産(石川県建設業協会、建設コンサルタンツ協会、石川県測量設計業協会)・学(金沢大学)・官(金沢河川国道事務所)」の3者が連携し、金沢大学の学生約60名を対象に特別講義を実施しました。講義には、同校の卒業生ら5名を講師として迎え、「建設の仕事(公務員・測量・コンサル・建設)すべて見せます」と題して、能越自動車道七尾氷見道路が開通するまでを事例として、各分野で建設界へ携わってきた経緯、仕事の内容、魅力などを講義いただきました。学生たちは、熱心にメモを取り、理解を深めていたようです。終了後のアンケートでは、「参考になった」、「もっと聞いてみたい、調べたい」という回答を得ました。

特別講義



約60名の学生が聴講



女性技術者への期待や職場環境への取り組みについて紹介

○特別講義の主な内容

- ・講師のプロフィールと経歴
- ・必要となる資格の概要
- ・分野毎の業務内容
- ・各業種における七尾氷見道路事業との関わり方
- ・仕事のやりがい
- 等・・・

アンケート結果

「参加して興味・関心を持ったこと、もっと知りたいこと、将来に向けて役立ったこと」について、自由記入して頂いた。

- ・一つの道路事業の中で、各業種がどのように関わっているかを、一連の流れで説明頂き、比較して各業種をイメージできた。
- ・自分と近い年齢の若手技術者の話について聞くことができて参考になった。
- ・最近では女性の働きやすい環境になってきていることがわかった。
- ・必要となる資格、スキルを知ることができた。
- ・質疑の時間が、もっとほしかった。
- ・就きたいと思っていた業種以外についても、改めて考えようと思った。



社内若手技術者のインタビュー記事により、世代の近い技術者の声を照会した



講師は、建設界に携わる5名の卒業生等

金沢工業大学の学生約80名が国土交通省のプロジェクトを学ぶ

平成27年10月19日(月)、金沢工業大学「学」と国土交通省「官」が連携し、環境土木工学科1年生を対象に現場見学会を実施しました。参加した学生からは、「写真で見ると実際に見るのは全然違う。利便性が上がったりして多くの人の役に立てる。」「土木も結構女性を受け入れている企業も多いので、今後頑張っていきたい。」などの感想があり、現場の魅力を間近で体感することで、自分達が目指す土木技術者の仕事への理解や自身の将来像をイメージする機会となりました。

①大学での講義

金沢東部環状道路の概要や、現場見学会の場所の説明を実施



②現場見学会

神谷内トンネル(Ⅱ期線)工事の現場を見学



工事概要の説明



施工状況の見学



トンネル掘削機械の説明



集合写真(1班)

平成27年8月21日(金)、「**産**(石川県建設業協会)」・「**学**(石川県内高校生)」・「**官**(石川県、金沢河川国道事務所)」の3者が連携し、石川県内の**普通科等高校生を対象に現場見学会**を実施しました。
県内の普通科、総合経営学科の高校生約20名が、国土交通省金沢河川国道事務所が実施している金沢東部環状道路の神谷内トンネル(Ⅱ期線)工事の現場を見学し、**普段触れる機会の少ない「建設業」の現場を体験**しました。

現場見学会の様子



神谷内トンネル(Ⅱ期線)工事の概要を説明



トンネル工事の施工内容をパネルにて説明



県内高校(7校)の1～3年生が参加



トンネル施工機械(削孔マシン)を稼働し、説明

七尾東雲高校

進路指導担当教員を対象に現場見学会を開催

平成27年10月6日(水)に、七尾東雲高校の進路指導の先生を対象に輪島道路の現場見学会を開催しました。本見学会は、建設界の担い手確保・推進協議会石川県支部の共通目標である、「保護者や教員をターゲットに建設界の理解、促進を図る」とした入口対策の一環として、取り組んだものです。参加された、先生からは、大変参考になったと、感想を頂きました。

■現場見学会の様子



概要説明

開催日時 平成27年10月6日(火)10:00～11:15

出席者 七尾東雲高校 教諭 6名

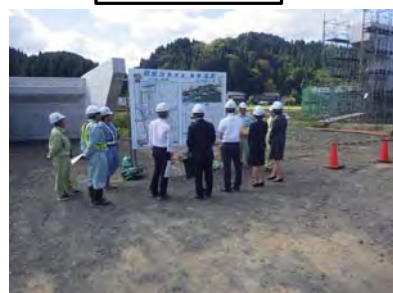
随行者 吉村工事品質管理官

健名建設監督官

説明現場 輪島道路施工中5工事
(橋梁下部 3工事、函渠工事
1工事、土工事 1工事)

説明内容

- ・能越自動車道(輪島道路・Ⅱ期)概要説明
- ・工事説明(概要、施工状況等)
- ・一般的な工事現場での話
- ・入社してからの話 etc



現場説明(三井IC)



現場説明(中道路)



現場説明(小泉道路)

小松大谷高校（普通科等高校） 進路指導担当教員を対象に現場見学会を開催

金沢河川国道事務所

平成27年11月27日（土）に、小松大谷高校（普通科等高校）の進路指導の先生を対象に小松地区（河川）の現場見学会を開催しました。本見学会は、建設界の担い手確保・推進協議会石川県部会の共通目標である、「保護者や教員をターゲットに建設界の理解、促進を図る」とした入口対策の一環として、取り組んだものです。参加された、先生からは、大変参考になったと、感想を頂きました。

■現場見学会の様子

上小松低水護岸工事



小松天満宮分水路及び輪中堤工事



■行程

9:00	小松大谷高校出発
9:15	小松天満宮到着
9:15～10:00	工事説明（分水路及び輪中堤工事）
10:00	小松天満宮出発
10:10	上小松到着
10:10～10:40	工事説明（上小松低水護岸工事）
10:40	上小松出発
11:00	出張所到着
11:00～11:45	出張所の概要（屋上）、前川排水機場・逆水門説明
11:45	出張所出発
12:00	小松大谷高校到着

■先生からの感想

土木現場案内に参加して

先日は吉村様、中山様にはお忙しい中にもかかわらず現場をご案内いただき、誠にありがとうございました。

日頃通っている道なのに、景色に紛れて気付かなかった工事現場をじっくり見学させていただき、改めて色々なことを知ることが出来ました。小松天満宮の分水路工事では、重要文化財の保存と治水対策を両立できるように小松市や関係省庁が長年協議して現在の計画になったとのことでした。完成したら、新たな名所として、百年、二百年後、更にその先へと残って欲しいものです。………

大いなる自然の力に対して、時として人間は無力です。しかし、その時代、時代における最新の科学技術を用いて、我々の命と財産を守るのが土木・建設にたずさわるものの使命なのでしょう。私たち教育者も志を持った若者の育成に精進していこうと決意を新たにいたしました。今回は貴重な見学をさせていただき、本当にありがとうございました。

将来の担い手を対象に現場見学会を開催 —小松工業高等学校生徒38名が参加—

金沢河川国道事務所

平成27年12月8日（火）に「H27梯川天神輪中堤他工事」において、小松工業高等学校の建設科2年生38名（男子30名、女子8名）を対象に現場見学会を開催しました。本工事は、今年度試行されている「**現場見学会提案・実施モデル工事**」の一つであり、**その目的は将来にわたる公共工事の品質確保と中長期的な担い手確保**とされています。

見学会では受注者が主体となり、梯川の治水の歴史や当該工事の概要などを説明し、工事現場を見学した後、現場に従事している若手社員（男女各1名）により「経験談や仕事への取り組み」について紹介があり、将来の就職先として建設産業を選択してもらうよう熱意のこもったPRの場となりました。

最後に、生徒達からの質問タイムでは、参加者の約7割から質問が出され、**建設産業への魅力度アップや自らが社会人になった際のイメージづくりに役立った**のではと感じています。

■現場見学会の様子

梯川の治水の歴史、工事概要の説明



工事現場の見学



若手社員による経験談紹介、PR



■概要

— 現場見学会の概要 —

- 日時 平成27年12月8日（火）
13:30～14:30
- 対象 石川県立小松工業高等学校
建設科2年生38名
- 内容
概要説明（15分）
現場見学（30分）
若手社員による建設業界PR（15）

■アンケート結果

見学会でアンケートを配布し、後日、集約しましたので、いくつか紹介します。

- ①女性も活躍できる職場になってきていると感じた。（現場監督にもなれる。）
- ②建設業の仕事は地図にのるくらい大きな仕事で達成感がある。
- ③汚い、泥臭いイメージがあったがきれいな現場だった。
- ④あらためて土木の素晴らしさに気付いた。地域にとても貢献できる。 など

工事現場の見学



男女別トイレの設置



生徒達からの質問に対応する社員



七尾氷見道路事業における地域住民への 引き渡しとなる工事を女性技術者のきめ細やかな観点を構築

金沢河川国道事務所

平成27年2月28日に能越自動車道 七尾氷見道路事業は小矢部砺波ジャンクションから七尾インターチェンジまでの供用を行い、雨量規制区間等の回避や物流や観光などの発展に効果が期待されています。

平成27年度は 立入防止柵設置等の周辺工事や機能補償工事を行っており 道路管理者や地域住民の方と密接に関係する工事となるため、地域へのきめ細やかな調整や工事施工が必要となります。そんな中でインターチェンジや高架橋に近接する家屋や水田、埋文包蔵地との調整に女性技術者の観点を発揮して現場施工に従事しています。

工事概要

工事名：H27能越道 古屋敷地区整備外1件工事
工 期：平成27年7月24日～平成28年3月30日
主 注：なし

工事内容：道路改良
道路土工
法面工
法覆護岸工（古屋敷大池）
排水構造物工
舗装工
防護柵工
橋梁附属物工



定期的に発行している
『能越道ニュース』
掲載状況



〇女性技術者が現場に着任して感じたこと

- ・地域の方が道路事業に関心が高く、それぞれの考えをお持ちであることに驚いた。
- ・現場が広範囲にわたり地元4町会の説明会、現場立ち会い等工事着手前に地域の方や県道市道の道路管理者との調整が多く驚いた。
- ・埋蔵文化財保存の重要性を改めて感じた。

女性の観点での対応と感想

（１）現場事務所の工夫

地域住民の方々が現場事務所へ気軽に足を運べる様に、現場でも挨拶を心掛け、事務所に来られた際には何気ない事でも談笑できるように雰囲気作りに配慮しました。そうした中で今まで気付かなかった事を知る機会が増え、現場を運営する上で良い結果を得る事が出来たと思います。

（２）工事現場における配慮工夫

現場に従事する作業員の方々とコミュニケーションを図れるように安全祈願のお守りや誕生日会等の企画を発案し実施しました。この事により現場内でも発言する機会が増え、自分の視点で物事を依頼する事ができるようになり現場の雰囲気も明るくなりました。

工事現場は汚くて危なくてつらいといった思いを多くの女性職員や若手技術者が加わることで活気が加わり良い印象に広がっていくことに今後一層期待します。

立ち会い状況

現場にて施工品質管理



安全・教育指導の実施

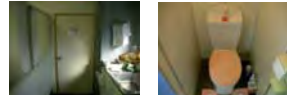


環境改善等取り組み状況

女性技術者のアイデアで作業員に安全祈願のお守りを手作り



現場事務所は通常より少し大きめのものを採用し、一部に女性専用の更衣室とトイレを設置



「けんせつフェア北陸in金沢2015」において、担い手の確保、育成の取り組みを推進するため、石川県内の学生を招待

北陸地方整備局・北陸技術事務所

平成27年10月16日（金）、17日（土）において、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場、担い手確保の広報の場として、石川県産業展示館4号館において、「けんせつフェア北陸in金沢2015」を開催しました。

担い手確保、育成の取り組みを推進するため、石川県内の大学、高等専門学校、高等学校の学生を招待し、建設業界の最新技術、とりまく環境、課題等について、みて、ふれて、知る機会を提供しました。



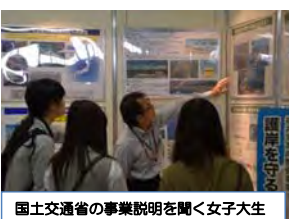
パネルディスカッションを聴講する学生



けんせつ小町座談会の聴講する学生



展示ブースを見学する大学生



国土交通省の事業説明を聞く女子大生



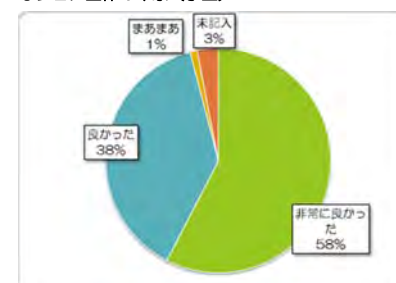
合同企業セミナーに参加する高校生



民間ブースで説明を聞く高校生

アンケート

〇フェア全体の印象（学生）



学生招待における印象は、「非常に良かった」が58%、「良かった」が38%を示しており、理由として「出展者の説明が親切・丁寧で分かり易かった」、色々な体験ができ楽しめた」が全体99件中43件の回答となっている。



無人化施工技術を体験する高校生



屋外展示ブースを見学、体験する学生

能越自動車道(輪島道路)現場見学会

能越道監督官室

開催日時 平成27年7月17日(金)

10:00~11:15

参加者 輪島市立三井小学校児童 25名

教師 4名

施工業者 寺井建設(三井IC下部その1工事)

小倉建設(三井IC下部その2工事)

南建設(三井IC下部その3工事)

実施内容

- ・能越自動車道概要説明(構造、進捗状況、役割等)
- ・工事説明
- ・建設機械(BH)試乗
- ・埋蔵文化財調査説明

主任監督員の役割

事業(能越自動車道)概要説明



概要説明(主任監督員)



工事説明(施工業者)



埋文説明(埋文センター)



BH試乗体験



集合写真

宝達志水町立樋川小学校現場見学(輪島道路)

能越道監督官室

開催日時 平成27年11月28日(土)

9:10~10:50

参加者 羽咋郡宝達志水町立樋川小学校

5・6年生児童 39名 教師 3名

実施業者 小倉建設(株)

中道路その2工事

実施内容

- ・輪島道路(能越自動車道)概要説明
- ・工事説明
- ・建設機械(BH)試乗
- ・質問、感想等



BH試乗



BOX内にて説明



ドローン実演



質問・感想



集合写真

乗車体験も楽しんだ。

した。児童はバックホウの

ら道路の構造などを紹介

事務所の職員や現場作業員

輪島道路の建設工事現場を

見学した。

国土交通省金沢河川国道

宝達志水・樋川小児童

宝達志水町立樋川小の

6年生約40人は28日、輪

島市三井町で、能越自動車

道建設工事現場を見学し

た。

この日は、輪島市庁

舎で、児童らに説明し、

能越自動車道の概要を

説明した。

また、現場作業員

の指導のもと、バック

ホウの試乗体験も行

った。

児童らは、能越自動

車道の建設工事現場

を見学し、道路の構

造などを紹介された。

児童らは、能越自動

車道の建設工事現場

を見学し、道路の構

造などを紹介された。

北国新聞 H27.11.29

建設工業新聞 H27.12.1

実施日時 平成27年8月6日(木)～7日(金)
17日(月)～18日(火)
実習者 金沢市立工業高等学校
土木科 2年生 男子2名
実施業者 石川建設工業(株)
小泉道路その2工事

実施内容

- ・石川建設工業受注工事(作業)説明
- ・現場での施工状況(輪島道路施工中工事)
- ・現場実習(測量作業・BH体験運転)
- ・輪島道路(能越自動車道)概要説明

経緯

金沢建設業協会では、毎年、金沢市立工業高等学校土木科の生徒に対する「工業人養成企業実習」をしている。今年度は、協会会員である石川建設工業(株)に生徒受け入れに対する依頼があり、受注している当該工事に受け入れ依頼があったものである。



概要説明



意見交換



測量実習



現場見学(Co打設)



現場見学(深礎杭)



現場見学(中層混合)



建設機械体験(BH)



建設機械体験(ドローン)

就職応募前職場見学(輪島高校)

開催日時 平成27年8月19日(水)
9:30～10:30
参加者 石川県立輪島高等学校
総合学科 生産システム系列3年生

実施現場 小泉道路その1工事(豊蔵組)

実施内容

- ・能越自動車道(輪島道路)概要説明(構造、進捗状況、役割等)
- ・工事説明(概要、内容、写真による状況)
- ・現場での施工状況
(各工種の施工内容説明、型枠解体作業、鉄筋組立作業の現場見学)

経緯

輪島高校から、豊蔵組の一次下請け業者である(株)協建設に就職応募前職場見学の依頼があったので、地元輪島市での事業である工事を見学していただければと、実施しました。



施工状況見学



概要説明



施工状況見学

開催日時 平成27年8月28日(金)

10:00～12:00

訪問学校 石川県七尾東雲高校

総合経営学科農業コース 2

年生

43名(内女子22名)

実施内容

・プレゼンテーション

- ①建設産業紹介ビデオ
- ②現場の仕事の内容と必要とする技術(南建設)
- ③社会人になって(東雲高校卒業生)

・意見交換会

- 建設業のイメージ
- 建設業の仕事に対する質問等
- 建設会社に期待すること

経緯

石川県建設業協会(七尾鹿島建設業協会、羽咋都市建設業協会)が、今後の建設業の担い手である高校生に、建設業の理解を深めてもらい、相互理解を深めることを目的に実施。(建設系工業高校以外では初めて)

協会から南建設にプレゼンテーションの依頼があったため、輪島道路で施工(2工事)している現場代理人が出席し、現在実施している工事を題材にして説明した。



工業高以外で初めて、工業高以外での開催は初めてで、協会役員らが総合経営学科農業コースの2年生43人に建設業の魅力を紹介した。七尾鹿島建設業協会の田村利会長があいさつし、南建設(志賀町)の南裕基専務が公共事業や仕事の内容を説明した。松原光工業(金沢市)に勤める同高出身の山本亮太さんがやりがいと語った。羽咋都市建設業協会の小倉淳会長は「建設業は誇りを持ってできる仕事です。就職するのを待っています」と呼び掛けた。

建設業の魅力を紹介

七尾東雲高で石川県協会

工業高以外で初

北国新聞(4面) 平成27年8月29日

インターンシップ(石川県立羽咋工業高校)

能越道監督官室

実施日時 平成27年10月14日(水)

実習者 石川県立羽咋工業高等学校

建築科 2年生 男子2名 女子5名

実施業者 小倉建設(株)

中道路その2工事

三井IC橋下部その2工事

実施内容

- ・小倉建設受注工事(作業)説明
- ・現場での施工状況(輪島道路施工中工事)
- ・現場実習(番線縛り、鉄筋結束、測量作業、土木シート設置)
- ・輪島道路(能越自動車道)概要説明



測量実習



土木シート設置



番線縛り



鉄筋結束



概要説明



現場説明(BOX)



卒業生より現場説明

